

2021年度 事業報告

社会福祉法人 平成記念会

2021年度 事業報告

社会福祉法人 平成記念会

1. 2021年度 事業報告の概要

- 業績等
 - 収益
 - 前年度比で9.2%増加
 - ケアホーム住吉の新規開設及びケアホーム葛飾の2年目の稼働
 - 介護報酬改定に伴う影響
 - 基本サービス費の改定
 - 新規加算の創設
 - 食費の改定（入所系サービス）
 - コロナウイルス感染症特例による影響
 - 稼働率
 - 入所系・居住系サービスでは、クラスターが発生した施設以外ではほぼ目標の99%以上を達成
 - 通所系サービスでは、約半数の事業所が新型コロナウイルスによる利用控えが影響し稼働率が低下
 - 訪問系サービスでは、訪問員数の変動、新型コロナウイルスの影響によりほとんどの事業所で利用者数は減少
 - 収支改善
 - 営業・広報活動の継続的な実施
 - 人員配置の適正化及び業務の効率化
- サービスの質
 - 医療対応の必要な方の積極的な受入れ
 - オンライン面会及び面会ブース導入による対面面会の実施
 - コロナ禍でもできるレクリエーション等の実施

- 人材の確保、育成
 - 研修の実施
 - E-ラーニングやオンラインを活用した研修会への積極的な参加
 - 資格取得の為の研修会への参加及び支援
 - 「介護キャリア段位制度」におけるアセッサー講習の受講推進
 - 新入職員や介護未経験者に対するOJT研修体系の確立
 - 福利厚生充実、働きやすい職場環境の提供
 - ICT環境の整備
 - 育児・介護休業制度等の休暇取得の充実

- 法人、グループ内の連携
 - 感染症発生時の連携体制の確立
 - コロナ禍における実地（書面）指導への支援
 - 介護報酬改定に伴う加算算定基準及び法令遵守に関する支援

- 地域貢献活動
 - オンラインでの地域高齢者施設の相談会への参加
 - 感染対策を行いながらの健康教室の開催
 - 地域支え合い活動として地域高齢者の買い物の移送車両提供に協力
 - 自治会主催の消防訓練への参加

- 新規事業
 - ケアホーム住吉 新規開設整備事業（2021年4月開設）

- 介護報酬改定
 - 特養
 - 収益（前年度比）： +4.3%
 - 要因
 - 基本サービス費及びコロナ特例0.1%上乗せ： +1.3%
 - 新規加算算定による増収： +0.2%
 - 改定による加算算定減収： ▲0.2%
 - 食費の改定による増収： +0.4%
 - その他稼働率変動による増収： +2.6%

- デイサービス
 - 収益（前年度比）： +18.2%
 - 要因
 - 基本サービス費及びコロナ特例0.1%上乘せ： +1.1%
 - コロナ特例（2区分上位算定）の終了による減収： ▲3.5%
 - 新規加算算定による増収： +1.1%
 - 改定による加算算定減収： ▲1.0%
 - その他稼働率変動による増収： +20.5%
- グループホーム
 - 収益（前年度比）： +1.3%
 - 要因
 - 基本サービス費及びコロナ特例0.1%上乘せ： +0.4%
 - 新規加算算定による増収： +0.2%
 - その他稼働率変動による増収： +0.7%
- 小規模
 - 収益（前年度比）： +8.8%
 - 要因
 - 基本サービス費及びコロナ特例0.1%上乘せ： +0.5%
 - 新規加算算定による増収： +0.2%
 - その他稼働率変動による増収： +8.1%
- ケアハウス（特定施設）
 - 収益（前年度比）： +4.8%
 - 要因
 - 基本サービス費及びコロナ特例0.1%上乘せ： +0.4%
 - 新規加算算定による増収： +0.3%
 - その他稼働率変動による増収： +4.1%
- 訪問看護
 - 収益（前年度比）： +11.6%
 - 要因
 - 基本サービス費及びコロナ特例0.1%上乘せ： ▲0.4%
 - その他稼働率変動による増収： +12.0%
- 訪問介護
 - 収益（前年度比）： ▲18%
 - 要因
 - 基本サービス費及びコロナ特例0.1%上乘せ： +0.2%
 - その他稼働率変動による減収： ▲18.2%

- 居宅
 - 収益（前年度比）： +10.5%
 - 要因
 - 基本サービス費及びコロナ特例0.1%上乗せ： +2.1%
 - その他稼働率変動による減収： +8.4%

- 障害福祉サービス等報酬改定
 - 就労継続支援B型
 - 収益（前年度比）： +52.4%
 - 要因
 - 工賃月額区分UP及びコロナ特例0.1%上乗せ： +0.3%
 - その他稼働率変動による増収： +52.1%
 - 共同生活援助
 - 収益（前年度比）： ▲22.5%
 - 要因
 - 基本サービス費のダウン： ▲0.2%
 - その他稼働率変動による減収： ▲22.3%

- 新型コロナウイルスへの対応
 - 職員1人1人の意識向上の為に施設内での感染対策の研修会の実施、また日頃から濃厚接触者にならない為の感染対策の徹底
 - 施設、設備の衛生管理や感染ラウンドの実施など感染対策の強化
 - 定期的なPCR検査・抗原定性検査の実施

2. 運営状況（稼働率、利用者数）

※（ ）の数値は対前年度の増減

高齢者事業

- 特養（稼働率）

事業所名	2020年度	2021年度
ヴィラ勝占（入所）【50名】 （ショート）【10名】	100.0% 83.6%	99.3%（▲0.7%） 93.7%（+10.1%）
ヴィラ羽ノ浦（入所）【50名】 （ショート）【10名】	98.5% 78.7%	99.3%（+0.8%） 85.0%（+6.3%）
ヴィラ本郷（入所）【30名】 （ショート）【10名】	98.7% 97.1%	96.6%（▲2.1%） 90.9%（▲6.2%）
ヴィラ都筑（入所）【110名】 （ショート）【10名】	99.3% 67.5%	99.1%（▲0.2%） 64.4%（▲3.1%）
ヴィラ町田（入所）【200名】 （ショート）【20名】	99.3% 94.8%	98.7%（▲0.6%） 97.4%（+2.6%）
ヴィラ神奈川（入所）【140名】 （ショート）【20名】	99.3% 98.1%	99.2%（▲0.1%） 94.4%（▲3.7%）
ケアホーム板橋（入所）【200名】 （ショート）【20名】	98.4% 75.2%	97.6%（▲0.8%） 87.0%（+11.8%）
ケアホーム葛飾（入所）【120名】 （ショート）【18名】	78.4% 89.3%	97.7%（+19.3%） 94.4%（+5.1%）
ケアホーム住吉（入所）【100名】 （ショート）【20名】	— —	68.0% 33.8%

- グループホーム（稼働率）

事業所名	2020年度	2021年度
グループホーム勝占【18名】	98.3%	99.4%（+1.1%）
グループホーム本郷【18名】	96.0%	95.1%（▲0.9%）
グループホーム板橋【18名】	95.5%	97.8%（+2.3%）
グループホーム滑北【18名】	95.6%	96.7%（+1.1%）
グループホーム八万【18名】	91.9%	94.9%（+3.0%）
グループホーム鳴門【18名】	94.1%	93.6%（▲0.5%）

- ケアハウス（稼働率）

事業所名	2020年度	2021年度
ケアハウスエルベ（一般）【70名】	95.9%	97.9%（+2.0%）
ケアハウス淡路エルベ（一般）【40名】 （特定）【30名】	99.9% 93.5%	99.3%（▲0.6%） 93.5%（±0%）
ケアハウス東浦エルベ（一般）【50名】 （特定）【30名】	99.9% 94.0%	99.9%（±0%） 93.4%（▲0.6%）
ケアハウス山口エルベ（一般+特定） 【50名】	98.5%	97.4%（▲1.1%）
ケアハウス板橋（一般）【20名】	98.6%	97.0%（▲1.6%）

- 通所介護（稼働率）

事業所名	2020年度	2021年度
平成デイサービスセンター羽ノ浦【20名】	68.5%	60.8%（▲7.7%）
平成デイサービスセンター都筑【22名】	69.7%	68.4%（▲1.3%）
平成デイサービスセンター町田【20名】	72.9%	81.9%（+9.0%）
平成デイサービスセンター神奈川【20名】	77.7%	80.3%（+2.6%）
平成デイサービスセンター渭北【23名】	77.0%	75.7%（▲1.3%）
那賀町鷺敷デイサービスセンター【35名】	76.5%	62.3%（▲14.2%）
平成デイサービスセンター平田【50名】	91.6%	92.3%（+0.7%）
平成デイサービスセンター黒磯【35名】	87.8%	87.3%（▲0.5%）
平成デイサービスセンター鳴門【25名】	74.6%	74.1%（▲0.5%）
平成デイサービスセンター徳島【25名】	70.7%	77.5%（+6.8）

- 訪問看護（延べ人数）

事業所名	2020年度	2021年度
訪問ステーションてとと東大阪	17,613名	17,538名（▲75名）
訪問ステーションてとと小平	9,583名	9,547名（▲36名）
訪問ステーションてとと徳島	12,188名	15,864名（+3,676名）

- 訪問介護（延べ人数）

事業所名	2020年度	2021年度
平成ホームヘルパーステーション黒磯	4,610名	3,675名（▲935名）
訪問ステーションてとてと小平	3,916名	3,130名（▲786名）

- 小規模・看護小規模（登録率）

事業所名	2020年度	2021年度
八万小規模多機能センター【29名】	89.3%	90.0%（+0.7%）
鳴門小規模多機能センター【29名】	49.7%	54.0%（+4.3%）

- 居宅（ケアプラン数）

事業所名	2020年度	2021年度
平成在宅介護支援センター平田	1,510名	1,613名（+103名）
訪問ステーションてとてと小平	716名	821名（+105名）
訪問ステーションてとてと徳島	754名	810名（+56名）

- 有料老人ホーム（稼働率）

事業所名	2020年度	2021年度
メディケアハウス平成【20名】	97.2%	96.2%（▲1.0%）

障がい者事業

- 就労継続支援B型（稼働率）

事業所名	2020年度	2021年度
OUCHI CAFE KITCHEN【20名】	46.2%	61.9%（+15.7%）

- 共同生活援助（稼働率）

事業所名	2020年度	2021年度
OUCHI HOME【14名】	89.3%	64.2%（▲25.1%）

その他事業

- 地域包括支援センター（ケアプラン数）

事業所名	2020年度	2021年度
大谷口地域包括支援センター	3,700名	3,617名（▲83名）
岩国市岩国第三地域包括支援センター	2,005名	1,955名（▲50名）

2022年 6月 7日

2021年度 事業報告 社会福祉法人 平成記念会

対象事業所

高齢者事業

エルベ（ケアハウス）【定員：一般-70名】

高齢者事業

エルベ（ケアハウス）【定員：一般-70名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 新型コロナウイルスの影響があったにも関わらず、入退去がスムーズに行えたことで、入居者数も増加し増収となった。
 - 軽費老人ホーム事務費補助金の基本額が増額された。
 - 稼働率
 - 新規の入居者が増え、4月から6月と10月中旬以降は99%以上の稼働率を維持できた。
 - 収支改善
 - 業務内容を見直し、効率の悪い作業を無くした。
 - 節電・節水を心がけ、無駄な電気や水の使用を控えた。
 - サービスの質
 - 面会禁止によりご家族様の訪問が減らないよう、窓越しでの面会を実施した。
 - 感染症や今後に不安のある入所者に対して、個別相談を行った。
 - 安心して生活していただけるよう感染対策を徹底した。
 - 人材の育成
 - 研修の実施
 - 外部研修への参加が出来なかったが、e-ラーニングやzoomを積極的に活用した。
 - 地域貢献活動
 - 地域住民と消防団員参加の防災訓練や、町内会の防災講習会への参加を計画していたが、実施できなかった。
 - 新型コロナウイルスの影響によりクラブ活動の再開には至らなかったが、担当者との連絡を定期的に行った。
 - 徳島県主催の災害研修会に参加し、災害時に避難施設となった場合の具体的な支援方法と提供方法について知識を習得した。
 - 改修工事
 - エレベーターマルチビームセンサー 入替
 - 浄化槽原水ポンプ 入替
 - 浄化槽放流ポンプ 入替
 - スプリンクラー配管修理

- 貯水槽バルブ 入替
- 屋上消火栓補給水槽 入替
- スプリンクラーポンプ 入替

○ 新型コロナウイルスへの対応

- 介護サービス参加時や各居室から出られる際は、必ずマスクを着用していただくことを徹底した。
- 施設、設備の衛生管理や感染ラウンドの実施など感染対策の強化に努めた。
- 入居者様やご家族様に面会禁止へのご協力をいただき、新型コロナウイルスの感染者はいなかった。

● 主な指標

※ () の数値は対前年度の増減

○ 一般

	2020年度	2021年度
稼働率	95.9%	97.9% (+2%)
単価 (人・日)	4,065円	4,079円 (+14円)

2022年 6月 7日

2021年度 事業報告

社会福祉法人 平成記念会

対象事業所

高齢者事業

淡路エルベ（ケアハウス）【定員：一般-40名 特定施設-30名】

高齢者事業

淡路エルベ（ケアハウス）【定員：一般-40名 特定施設-30名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 介護報酬改定に伴い新設された「科学的介護推進体制加算」や生活機能向上連携加算継続算定により、単価の上昇が見られた。
 - 病院や居宅支援事業所等に電話での営業を実施し、待機者の確保に努めた。また待機者への意志確認、空きが出た場合すぐ入居して頂けるよう定期的に連絡を行い空床の期間を減少させ稼働率へつなげた。
 - 稼働率
 - コロナ感染拡大時期と退居が重なり、空床期間が短縮できない時もあったが入居調整をしっかりと行ったことで稼働率を維持できた。
 - 収支改善
 - 物品発注において在庫管理、必要数の再検討を行った。
 - 照明や空調の温度管理を積極的に行った。
 - 状態変化があった場合介護度の区分変更申請の提案を行い適切な介護度でサービス提供ができた為、介護報酬増収につなげることができた。
 - サービスの質
 - 接遇面の向上を目指し定期的に勉強会を実施した。
 - オンライン面会を案内し実施した。
 - 生活機能向上連携加算の算定により、併設医療機関所属の理学療法士と連携し、特定施設利用者個人個人に対して効果的な機能訓練を実施できた。
 - 新入職員であまり介護の経験がない職員に対してはEラーニングも活用し、研修を実施した。
 - 地域貢献活動
 - 南あわじ市社会福祉連絡協議会へ参加し、災害時の地域への貢献活動の準備に取り組めた。
 - 月2回南あわじ市地域ケア会議へ参加し民生委員の方と交流し、その中で入居に関する相談を実施した。

○ 改修工事

- エレベーター修理（2021年4月）
- コピー機修理（2021年5月）
- 施設内污水配管漏水修理（2021年7月）
- ボイラー配管漏水修繕工事（2021年10月）
- エアコン取替工事（2022年2月）

○ 新型コロナウイルスへの対応

- 感染対策委員会を定期的に実施し、毎朝のミーティングなどで情報共有や感染対策の徹底について注意喚起した。
- 環境衛生や換気の時間を設定し、職員全員で取り組んだ。
- 入居者の外出による感染リスクを減らすため近くのコンビニやドラッグストア等に生活費必需品を買ってくるなど生活買い物支援を行った。
- 協力医療機関との連携を密に行い、入居者が発熱等で体調を崩した場合の連絡体制を整えた。

● 主な指標

※（ ）の数値は対前年度の増減

○ 一般

	2020年度	2021年度
稼働率	99.9%	99.3%（▲0.6%）
単価（人・日）	3,824円	3,757円（▲67円）

○ 特定施設

	2020年度	2021年度
稼働率	93.5%	93.5%（±0%）
平均要介護度	1.0	1.1（+0.1）
単価（人・日）	5,482円	5,785円（+303円）

2022年 6月 7日

2021年度 事業報告 社会福祉法人 平成記念会

対象事業所

高齢者事業

東浦エルベ（ケアハウス）【定員：一般-50名 特定施設-30名】

高齢者事業

東浦エルベ（ケアハウス）【定員：一般-50名 特定施設-30名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 介護報酬改定に伴い、科学的介護推進体制加算、生活機能向上連携加算の算定による増収があった
 - 稼働率
 - 入退居のコントロール行い、稼働率は99%維持できた
 - 収支改善
 - 入院期間が長期になる場合、一度退居して頂くように今後も働きかけ、収支を安定させる
 - サービスの質
 - 入居者の希望を聞き、淡路島の銘菓や全国の特産品をお取り寄せし、大変好評を頂いた
 - 感染拡大時期で外出自粛期間は、職員が買い物を代行し、通常通り生活できるように支援した
 - 人材の確保、育成
 - 介護福祉士資格取得のため、講習や模試への参加を促進し、1名合格できた
 - 地域貢献活動
 - 防災無線を食堂、洗濯室、事務所に設置し、日常生活に必要な情報や行政情報、災害情報を得れるようにした
 - 淡路市役所主催の防災計画概要説明会に参加し、地域の防災計画についての知識を深めた
 - 新規事業・改修工事
 - エアコン取替工事（2021年11月）
 - コイン式全自動洗濯機取替工事（2021年12月）
 - 給湯器設置工事（2022年1月）
 - 自動ドア取替工事（2022年2月）
 - 新型コロナウイルスへの対応
 - 新型コロナウイルスワクチンの接種を推奨、入居者へ説明と同意を得て全入居者様に実施できた
 - 感染症対策への理解を頻繁に声掛けし、居室出る際にはサージカルマスクの着用、食事前の手指消毒が定着できた

- 淡路島管内の感染者数の動向を定期的に案内し、注意喚起を行った

主な指標

※ () の数値は対前年度の増減

○ 一般

	2020年度	2021年度
稼働率	99.9%	99.9% (±0)
単価 (人・日)	3,449円	3,453円 (+4円)

○ 特定施設

	2020年度	2021年度
稼働率	94.0%	93.4% (▲0.6%)
平均要介護度	1.4	1.6 (+0.2)
単価 (人・日)	6,039円	6,319円 (+280円)

2022年 6月 7日

2021年度 事業報告

社会福祉法人 平成記念会

対象事業所

高齢者事業

山口エルベ（ケアハウス）【定員：特定施設-50名】

高齢者事業

山口エルベ（ケアハウス）【定員：特定施設-50名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 全体の収支について、介護報酬の改定により取得できる加算が増え、入居者一人当たりの単価が上がり、前年度比でやや上昇した。
 - 稼働率
 - 受け入れ体制の整備に注力したものの、コロナ禍による医療機関や介護施設との調整に時間がかかりやや低下した。
 - 収支改善
 - 介護報酬改定に伴い、新たに追加となった加算（科学的介護推進体制加算・個別機能訓練加算（Ⅱ）・口腔栄養スクリーニング加算）について、算定体制の整備を行った。
 - 既存の加算についても取りこぼしなく加算を算定できた。
 - サービスの質
 - 入居者の希望や職員の提案を基に、コロナ禍でも実施可能な活動を実際に行い、充実した余暇活動を提供できた。
 - 機能訓練指導員を中心とし、全職員が協力して入居者個々の能力を把握することにより、効果的な機能訓練を実施できた。
 - 業務改善委員会を中心とした業務内容の見直しおよび改善を行い、業務の効率化を図った。
 - 人材の確保、育成
 - 研修の実施
 - 毎月、各職種や委員会が中心となって施設内研修を実施し、様々なテーマについて学んだ。
 - Eラーニングを活用し、スキル向上のための知識を獲得できた。
 - キャリアパス制度の整備など人事管理、制度の適正化
 - 働きやすい労働環境を目指し、育児・介護休業制度等、諸制度の積極的な活用や定時退社の遵守を行った。
 - 法人、グループ内の連携
 - 相互に連携・協力体制をもち、山口エリアの入退院・入退所状況を把握して利用者に切れ目のない医療・福祉サービスを提供できた。

- 地域貢献活動
 - 新型コロナウイルスの影響により、地域行事への参加や実施、ボランティア招致なども行えなかった。
- 改修工事
 - 浴室水道管漏水修理工事（2021年11月）
- 新型コロナウイルス感染症への対応
 - 感染対策委員会を中心とした追加予防策の検討や環境整備の提案、全職員への情報共有など、感染対策の徹底ができた。
 - 全入居者、全職員、3回目のワクチン接種を行い、万が一の事態に備えることができた。

● 主な指標

※（ ）の数値は対前年度の増減

○ 一般

	2020年度	2021年度
稼働率	1.6%	0% (▲1.6%)
単価（人・日）	2,116円	0円 (▲2,116円)

○ 特定施設

	2020年度	2021年度
稼働率	97.0%	97.4% (+0.4%)
平均要介護度	2.0	1.8 (▲0.2)
単価（人・日）	9,466円	9,835円 (+369円)

2022年 6月 7日

2021年度 事業報告

社会福祉法人 平成記念会

対象事業所

高齢者事業

ヴィラ勝占（特養）【定員：入所-50名 ショート-10名】

グループホーム勝占【定員：18名】

高齢者事業

ヴィラ勝占（特養）【定員：入所-50名 ショート-10名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 介護報酬改定により基本サービス費の増加や新たな加算として科学的介護推進体制加算を算定することができ、入所、ショートとも増収に繋げることが出来た。
 - 新型コロナウイルス感染症の影響もありスムーズに受け入れができず空床ができてしまうこともあったが、減少したショートを長期で利用していただくことにより前年度と同様の収入を得ることができた。
 - 稼働率
 - 入所では待機者を意識し、又隣接医療機関の協力もあり99.3%とすることができた。
 - ショートでは、短期間の受け入れが少なくなりましたが、ロングショートでの利用に繋げ、93.7%と上昇させることができた。
 - 収支改善
 - 令和3年9月30日まで感染症対応への特例的な措置として、入所、ショートともに基本サービス費の0.1%上乘せがあった。
 - 11月より人員不足のため、機能訓練体制加算の算定ができなくなった。
 - サービスの質
 - 感染対策を万全にし、ユニット単位の少人数で、サークル活動や行事を実施した。
 - 面会禁止により不自由をおかけしている利用者様、ご家族様に対しオンライン面会や窓越しでの面会を積極的に行った。
 - 施設で元気に生活されている様子を撮影して、ご家族様来所時に写真を渡し（県外のご家族様には郵送）施設内の様子をお伝えした。
 - 人材の確保、育成
 - 「介護プロフェッショナルキャリア段位制度」において評価を実施した結果、1名レベル2①に評価することができた。
 - 施設内研修においてはe-ラーニングを活用し、知識の習得に努めた。又外部研修ではzoomを活用し、コロナ禍においても積極的に意見交換や学習の場を獲得することができた。

- 資格取得
 - 介護福祉士国家試験に2名合格することが出来た。
 - 認知症介護実践研修を1名受講することができた。
 - ユニットリーダー研修、1名受講することが出来た。
- 地域貢献活動
 - 今年度もコロナ禍において、十分な地域貢献活動ができなかった。
- 改修工事
 - 2階旧館フロア蛍光灯一式LEDへの交換
 - 一階新館ホールエアコン取り換え工事
 - エレベーター1号機ロープ交換
 - 排煙窓の修理
- 新型コロナウイルスへの対応
 - 本年度も新型コロナウイルス感染症における、感染対策について施設内はもちろんのこと同敷地内における感染対策強化について共有に努めた。同敷地内役職者によるラウンドも実施した。
- 主な指標

- 入所

※ () の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	100%	99.3% (▲0.7%)
平均要介護度	4.0	4.1 (+0.1)
単価 (人・日)	14,406円	14,623円 (+217円)

- ショート

	2020年度	2021年度
稼働率	83.6%	93.7% (+10.1%)
平均要介護度	4.0	3.8(▲0.2)
単価 (人・日)	13,686円	13,505円 (▲181円)

グループホーム勝占【定員：18名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 前年度と比較して平均要介護度・稼働率共にアップしたことと、4月

の介護報酬改定で基本報酬が上がったこと、新たな加算が創設されたことによって単価アップとなり、増収に繋がった。

■ 稼働率

- 99.4%（前年度比+1.1%）

11月～12月にかけて入退居が続いた為、稼働率も97～98.4%と低下した。年間を通して100%を達成したのは4ヶ月のみであったが、その他の月は99%以上を維持し、年平均99.4%と前年度を上回ることができた。

■ 収支改善

- 創設された口腔栄養スクリーニング加算や科学的介護推進体制加算、サービス提供体制強化加算（I）を4月より取りこぼしなく算定した。また、2022年3月からにはなったが管理栄養士協力の下、栄養管理体制加算の算定を開始した。
- 2021年9月末まで、新型コロナウイルス感染症に対応するための特例的な評価として基本報酬に0.1%の上乗せがあった。
- 物品の在庫管理を行い、過剰発注やストックを控えた。

○ サービスの質

■ アンケートの実施

- 入居者様及びご家族様へ生活環境や接遇に関するアンケートを実施した。1名でも不満足と回答があった項目に関しては、職員間で話し合いを行い改善に努めた。ご家族様から「グループホームに入れて良かった」「よくしてもらって感謝している」等の感想を頂くこともでき、職員の励みとなりモチベーションのアップにも繋がった。

■ 職員満足の追及

- 昨年度と同様に職員へ満足度調査を実施し、調査結果を基に業務改善を行った。また、職員間のコミュニケーションを大切にし、職員から出た意見を可能な限り取り入れ、意見を言いやすい関係、働きやすい環境作りに努めた。

■ 余暇活動の充実

- 新型コロナウイルスの感染予防対策を行いながら、毎日レクリエーションを実施することができた。また、外出自粛が続く中、室内にいても季節を感じていただけるよう毎月の行事に工夫を凝らし、入居者様に楽しんでいただくことができた。年間を通して行事担当者を決めているが、早期から担当者同士で意見を出し合い準備に取り掛かることができ、職員にも余裕が生まれた。

- 家族交流
 - 面会に制限がある中においても入居者様と家族様との関係を断ち切らないよう、オンライン面会や窓越し面会を積極的に行った。また、年4回のグループホーム便りや入居者様から家族様に宛てた年賀状は家族様から好評を得ている。
- 感染対策
 - 入居者様に感染症への不安なく生活していただけるよう、感染予防対策を徹底した。入居者様の中にはマスクの着用が難しい方もいるが、日々繰り返し着用を促すことで着用時間は伸びてきている。家族様にも面会を控えていただき、入居者様や家族様の協力の下、また、職員の日常生活を含めた感染予防対策の頑張りにより、誰一人として新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症に罹患することなく過ごすことができた。
- 人材の確保、育成
 - 研修や勉強会への参加の機会の確保
 - Web研修を活用して法人内外の研修に参加し、職員が学ぶ機会を持てるよう努めた。また、グループホーム内での勉強会においてはeラーニングを積極的に活用した。
 - 認知症介護基礎研修の受講
 - 1名受講した。
 - 人材の確保
 - 職員からの紹介や求人情報からの応募があり、人材を確保することができた。
- 地域貢献活動
 - 地域交流
 - 地域のお祭りへの参加や地域住民参加型の防災避難訓練の実施、地域の方に参加していただけるイベントの企画等を考えていたが、新型コロナウイルスの影響で全て実施することができず、地域の方と関わりを持つことができなかった。
- 主な指標 ※ () の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	98.3%	99.4% (+1.1%)
平均要介護度	2.9	3.0 (+0.1)
単価 (人・日)	12,268円	12,384円 (+116円)

2022年 6月 7日

2021年度 事業報告

社会福祉法人 平成記念会

対象事業所

高齢者事業

ヴィラ羽ノ浦（特養）【定員：入所-50名 ショート-10名】

平成デイサービスセンター羽ノ浦（通所介護）【定員：20名】

高齢者事業

ヴィラ羽ノ浦（特養）【定員：入所-50名 ショート-10名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 入所では、2021年4月からの法改定による新利用料・加算算定収入増と稼働率の微増により増収となった。
 - ショートも同様に法改定及び稼働率増により増収となった。
 - 稼働率
 - 入所では、前年度を上回る稼働率で年間を通してほぼ満床（年間平均99.3%）を維持できた。
 - ショートでは、2020年度に併設通所事業所のコロナクラスター発生の影響もあり稼働率低下を招いたが、年度末から徐々に回復、最終的に年間平均85%まで回復することができた。
 - 収支改善
 - 2021年度は、前年度の介護福祉士の配置割合が届かず、サービス提供体制強化加算Ⅲの算定となったが、2022年度に向けて、介護福祉士保有者の入職促進や在籍職員の国家試験合格により、2022年度からワンランク上位区分の加算Ⅱを算定できることとなった。
 - ショートステイでは看護職員の配置が困難となり、看護体制加算が算定不可となった。サービス提供体制強化加算Ⅲと看護体制加算の未算定によりショート単価が前年度より下がったため、全体収支を考慮しながら算定基準を満たす人員を配置することが今後の課題となる。

- サービスの質
 - 認知症高齢者が700万人に達するとされる将来推計や、阿南市の高齢化率がすでに30%を超えている現状から見ても、入所・利用者の状態や抱えている疾病が開設当初とは大きく様変わりしている。介護報酬改定でも無資格の介護職員等の認知症介護基礎研修受講が義務化されるなど認知症対応力向上が課題とされ、当施設においても、認知症実践者研修を2名が受講した。また特養における医療面の充実も喫緊の課題となっており、2021年4月に認定特定行為業務従事者として3名を登録した。
- 人材の確保、育成
 - グループで進める「介護プロフェッショナルキャリア段位制度」におけるアセッサー資格保有者2名が2月にレベル4の段位認定を受けた。
 - 外国人（バングラデシュ）技能実習生2名が入職して半年が経過し、7月より人員配置基準を満たすこととなった。介護技能実習評価試験にも合格し、技能実習2号へ移行することができた。
- 地域貢献活動
 - コロナ禍で十分な地域交流・貢献活動ができなかったが、ホームページの「お知らせ」に注力し、情報発信に努め、グループ内広報大賞において「文章上手で賞」を受賞した。
- 改修工事・備品修理及び購入
 - 1階消防用スプリンクラーポンプ配管 修繕
 - 1階消火水槽内フット弁、ボールタップ 修繕
 - 1、2階照明 修繕
- 新型コロナウイルスへの対応
 - コロナ感染第4～6波が到来、徳島県においても第6波で感染者が急増したが、施設及び個々で感染対策を徹底した結果、年度を通して職員・利用者が感染者となる事例は発生しなかった。
 - 第6波の猛威が収まり始めた時期より、感染対策の緩和を検討し、小集団によるレクリエーションを再開した。

● 主な指標

○ 入所

※（ ）の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	98.5%	99.3% (+0.8%)
平均要介護度	4.0	4.1 (+0.1)
単価（人・日）	12,055円	12,369円 (+314円)

○ ショート

	2020年度	2021年度
稼働率	78.7%	85.0% (+6.3%)
平均要介護度	3.0	3.3 (+0.3)
単価 (人・日)	10,120円	9,995円 (▲125円)

平成デイサービスセンター羽ノ浦（通所介護）【定員：20名】

● 事業報告の概要

○ 業績等

■ 収益

- 県内においてコロナ感染第4～6波が到来し、思うように稼働率を上げることが出来ず、前年度より減収となった。

■ 稼働率

- 年末から年度末にかけて新規利用者が増えていたが、入院・入所する利用者もあり、年平均稼働率は60%に留まった。

■ 収支改善

- 兼ねてより要望していたリハビリテーションスタッフの派遣（協力病院より6月からの出向）が決まり、7月からの個別機能訓練加算の算定を予定している。
- 3カ月で稼働率75%を目標に掲げ、デイホールの配置・内装の変更改善を行い、おもてなしサービスの充実を図った。
- 提供サービスや内装等の様子を随時ホームページで配信するとともに、管理者、主任、生活相談員が計画を立てて事業所訪問をして周知を図った。

○ サービスの質

- 入所サービスと同様、認知症高齢者の日常生活自立度の低い方や医療必要度の高い利用者が増えており、ミーティングや実践法の勉強会を通して基礎知識及び個別対応法について学ぶ機会を設けた。

○ 人材の確保、育成

- 介護福祉士国家試験を受験予定の職員に実務者研修受講の機会の調整を図った。
- 認知症介護実践研修を受講した職員1名による伝達研修を行い、認知症介護の知識及び対応について学ぶ機会を設けた。

- 地域貢献活動
 - 月1回施設近隣に住む要介護・要支援とならない方を対象に開催していた介護予防・健康教室（ヴィラ羽ノ浦健康クラブ）がコロナ禍により中止が続いている。再開に向けた活動方法・感染対策の検討が課題となった。
- 改修工事・備品修理及び購入
 - 送迎車両 修繕
- 新型コロナウイルスへの対応
 - コロナ感染第4～6波が到来、徳島県においても第6波で感染者が急増したが、施設及び個々で感染対策を徹底した結果、年度を通して職員が感染者となる事例は発生しなかった。2020年度のクラスター発生後に取り決めた感染対策を継続しつつ、第6波が収まり始めた年度末からは緩和策の検討も行った。

● 主な指標

※（ ）の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	68.5%	60.8% (▲7.7%)
平均要介護度	1.8	2.0 (+0.2)
単価（人・日）	7,674円	7,975円 (+301円)

2022年 6月 7日

2021年度 事業報告

社会福祉法人 平成記念会

対象事業所

高齢者事業

ヴィラ本郷（特養）【定員：入所-30名 ショート-10名】

グループホーム本郷【定員：18名】

高齢者事業

ヴィラ本郷（特養）【定員：入所-30名 ショート-10名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 昨年度と比較して入所・ショートともに稼働率が大きく下回る結果となり、前年度比2%の減収となった。
 - 稼働率
 - 医療機関入院者への判断・対応の遅れにより空床が多く発生した。生活相談員と主だって調整を行っていた常勤看護職員の退職による影響が大きかった。
 - 入所申込者・待機者の確保ができない時期があり、退所者発生後の対応に遅れが出るがあった。
 - 入所待機待ちのショートステイ利用者を入所に繋げるケースが多く、ショートステイの稼働も安定しなかった。
 - 収支改善
 - 介護報酬改定による基本単位の上昇、新型コロナウイルス対応特例による上乘せ、僅かながらであるが介護度の上昇により、利用者一人あたりの単価上昇があった。
 - LIFE関連の加算算定については、9月末の常勤看護師の退職による体制の変更から、一部が算定できなくなった。
 - サービスの質
 - コロナ禍での感染対策を講じつつ、季節を感じられるように工夫を行い、定期イベント等を開催できた。
 - 家族や関係機関への連絡体制、広報活動が安定して実施できており、トラブル等の減少にも繋がった。
 - 人材の確保、育成
 - 9月末に主任常勤看護師の退職があり、加算算定のみならず施設業務体制の大きな変革を余儀なくされた。欠員に対しての募集活動も実らず、各要職への負担が大きいものとなった。
 - 年度末に管理栄養士の退職があったが、募集活動が実り、入れ替わりで新職員を迎えることができた。当施設の立地においては特に管理栄養士の確保が難しいため、管理栄養士2名体制を基準とした。
 - EPA候補生の帰国、特定技能生のグループ内異動があり、介護職員の人員不足に陥った。

- 技能実習生2名の受入予定であったが、新型コロナウイルスの影響による入国制限で延期となった。
 - 地域貢献活動
 - 新型コロナウイルスの影響により、地域行事への参加や自施設での施設開放イベントの開催等は困難であった。
 - 岩国市公益活動や玖北運営委員会の開催においてもコロナ禍の影響が強く、活動再開には至らなかった。役員会のみ実施し、今後の方針を岩国市内の他法人とともに検討した。
 - 改修工事
 - 大規模な改修工事などは行っていない。
 - その他
 - 職員家族に新型コロナウイルス感染者や濃厚接触者の発生があったが、当施設利用者および施設職員への拡大はなかった。
- 主な指標

○ 入所

※ () の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	98.7%	96.6% (▲2.1%)
平均要介護度	4.0	4.0 (±0)
単価 (人・日)	12,773円	12,873円 (+100円)

○ ショート

	2020年度	2021年度
稼働率	97.1%	90.9% (▲6.2%)
平均要介護度	2.6	2.6 (±0)
単価 (人・日)	10,455円	10,753円 (+298円)

グループホーム本郷【定員：18名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 前年度は正看護師の在籍があり、医療連携体制加算が取れていたが、本年度はその加算が取れなかったため単価減少となった。
 - 単価、稼働ともに低下したため、前年度を下回る実績となった。
 - 稼働率
 - 前年度と比べ、待機者の確保ができず、空床発生後の対応に遅れがあり稼働率が低下した。
 - 他施設や関係機関との連携不足もあった。
 - 収支改善
 - 医療連携体制加算が算定不可となり、前年に比べ一人あたりの単価が低下した。
 - サービスの質
 - 外出イベントは自粛しているが、施設内イベントや菜園、施設周辺散策などで、心地よく過ごせる環境を作り出すことができた。
 - 人材の確保、育成
 - 職員の高齢化も進んでいるが、地元の子育て世代の職員が1名入職したために、若干の若返りが図れた。
 - 地域貢献活動
 - コロナ禍の影響で、主だった地域活動は全て中止となった。
 - 改修工事
 - 2階の集中エアコン故障によるセパレートエアコンの設置を行った。
(居室9台 脱衣場1台 ホール1台 事務所1台)
 - その他
 - 職員の家族にコロナ感染者や濃厚接触者が発生したものの、職員や施設内への感染拡大はなかった。

- 主な指標

※ () の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	96.0%	95.1% (▲0.9%)
平均要介護度	2.8	2.8 (±0)
単価 (人・日)	11,998円	11,885円 (▲113円)

2022年 6月 7日

2021年度 事業報告

社会福祉法人 平成記念会

対象事業所

高齢者事業

ヴィラ都筑（特養）【定員：入所-110名 ショート-10名】

平成デイサービスセンター都筑（通所介護）【定員：22名】

高齢者事業

ヴィラ都筑（特養）【定員：入所-110名 ショート-10名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益及び稼働率
 - 本入所
 - 2022.1月に発生したクラスターの影響で、年度後半は稼働率が95%まで減少したが、年度前半の高稼働率維持により、年間平均稼働率としては、前年度比0.2%減にとどまった。
 - 介護報酬改定に伴う、基本サービス費の単位数UP、新規加算の算定、食費改定等により前年度比1.1%の収益増となった。
 - 認知機能低下やBPSDの方の受け入れを積極的に取り組むが、平均介護度の増加には反映されなかった。
 - ショート
 - ショートを利用しながら入所待機待ちをされていた方々が、本入所で空床が出たことにより移行されたこと、さらにコロナ利用控えの影響もあり、稼働率は前年度比3.1%減となった。
 - 2021年度は緊急短期入所受入加算のコロナ特例がなくなったが、介護報酬改定に伴う基本サービス費の単位数UP、新区分が追加された「サービス提供体制強化加算」について、上位区分Ⅰを算定できたことにより、全体として単価は増加した。
 - 収支改善
 - 本入所の待機者獲得を最優先とし、ショートステイでの受け入れを実施すると共に、病院との連携調整を強化した。
 - 医療対応の必要な利用者の受け入れ維持により医療対応促進助成金の申請を継続した。
 - 介護報酬改定に伴い新設されたLIFE関連加算については、情報収集等を積極的に行い、従来の加算要件とは異なる「データ提出」において算定ミスが発生しないよう、早期から対策を行った。
 - 前年度86名、今年度84名（内コロナクラスター入院13名）の入院者数となり入院による稼働率低下を防ぐことができた。

- サービスの質
 - 従来からのリハビリ介入が、介護報酬改定により評価され、入所者のADL維持向上だけでなく、次年度のADL維持等加算Ⅱの算定につながった。
 - クラスタ発生を経験し、職員の再教育と感染予防策の徹底実施を行い、安心・安全の生活環境のサービス提供を実践した。
 - 利用者一人ひとりの誕生日のお祝いを毎月実施し、写真を家族へ提供し面会の出来ない環境での様子を共有し不安軽減に努めた。
 - 生き物と共に生活する環境の提供を目的とし、施設ドッグとのふれあい、メダカの育成 ビオトープの導入、園芸活動の提供にてレクリエーションの強化を実践した。
- 人材の確保、育成
 - 新卒介護士の育成、卒後3年クリニカルラダーの作成とフォローアップ体制の構築により、離職せず3年目を迎えた。
 - 職員離職者は20年度27名、21年度24名と働きやすい職場改善の取組の効果が得られた。
 - 技能実習生3名に介護技術の獲得と日本語検定の勉強支援、生活支援を行い、3年目を迎え日本で生活するために介護福祉士の国家試験への挑戦に取り組む。
 - 介護課の組織体制整備およびラダーの導入に沿って、マネージャーの選出を行い、施設内の人材育成に取り組んだ。
- 地域貢献活動
 - 市営勝田団地自治会の定例会に参加し、介護サービスの案内、住民情報共有を実施した。また集会場にて健康教室を開催し地域活動を行った。
 - 新型コロナウイルス感染防止のため中学生職業体験を行えなかったが、学校との情報交換を行った。
- 改修工事
 - 消防点検修正箇所、誘導灯の修繕、消火器交換
 - エコキュート2号機 3号機修理
- 主な指標

- 入所

※ () の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	99.3%	99.1% (▲0.2%)
平均要介護度	3.8	3.8 (±0)
単価 (人・日)	14,823円	15,024円 (+201円)

○ ショート

	2020年度	2021年度
稼働率	67.5%	64.4% (▲3.1%)
平均要介護度	3.2	3.2 (±0)
単価 (人・日)	14,770円	15,208円 (+438円)

平成デイサービスセンター都筑（通所介護）【定員：22名】

● 事業報告の概要

○ 業績等

■ 収益

- 併設事業所のクラスター発生により営業日が減少し前年度比▲6.7%減収となった。
- 介護報酬改定により新規加算を算定をした。
- 介護度の高い利用者の入院死亡により介護度が低下した。
- 新型コロナウイルス感染症に伴う特例取り扱いが終了したことにより単価が低下した。

■ 稼働率

- 新型コロナ感染の影響により稼働に大きく影響が出た。利用登録者51名を維持し居宅事業所との連携強化、利用継続維持に努めた。
- 新規事業所への営業を実施し、新規利用者の獲得を強化した。

■ 収支改善

- コロナ緊急事態宣言での利用控えを最小限にし、安全性を協調した。10%以上の減収にならないように現状を維持できた。また利用者の満足を維持し増回契約につなぐことが出来た。
- デイサービス広報営業を見直し、介護支援事業部の指導を受け新規獲得と地域事業所へのパイプ構築が出来た。

○ サービスの質

- 園芸・ガーデニングを取り入れレクリエーションの強化
- 食事・デザートのおもてなし強化
- パーテーション設置でプライベート空間を保ち人目を気にせず静養できる環境の整備
- 感染対策実施の徹底

- 人材の確保、育成
 - 介護福祉士新卒の配置とレクリエーション計画実施により、ラダーに沿った卒後教育を実施
 - 新型コロナウイルス感染対策講義を実施
- 地域貢献活動
 - 勝田団地自治体への介護サービス相談会を実施し月1回の訪問を実施
 - 幼稚園からの園児活動はコロナ対策中にて延期、情報共有は継続

● 主な指標

※ () の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	69.7%	68.4% (▲1.3%)
平均要介護度	2.0	1.9 (▲0.1)
単価 (人・日)	9,890円	9,595円 (▲295円)

2022年 6月 7日

2021年度 事業報告

社会福祉法人 平成記念会

対象事業所

高齢者事業

ヴィラ町田（特養）【定員：入所-200名 ショート-20名】

平成デイサービスセンター町田（通所介護）【定員：20名】

高齢者事業

ヴィラ町田（特養）【定員：入所-200名 ショート-20名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 本入所
 - 4月からの介護報酬改定により基本サービス費単位UP、新規加算の算定、令和3年9月までの基本サービス費0.1%の上乗せ等、収益は前年度比8.9%増となった。
 - ショートステイ
 - 新規利用者は年間97名の獲得となり、営業の成果が見られた。看護体制加算Ⅲ、Ⅳの算定が不可となり、今年度は看護体制加算Ⅰ、Ⅱの算定となり単価は下がってしまったが、特養の空床を利用し稼働率向上に努め、収益は前年度比9.8%増となった。
 - 稼働率
 - 本入所
 - 入所申込者は八王子市、相模原市も多くなり近隣の病院からの紹介など問い合わせが多くなった。面談はコロナの影響もあり迅速な対応ができなかった時もあり、また病院からの新規受け入れなども予定日に入所ができなかったりと影響があった。
 - ショートステイ
 - 緊急ショートの受け入れや医療行為のあるご利用者の積極的な受け入れ、また入所、退所の人数が多い日にはご利用者のご希望を損ねることなく受け入れを行った。
特養の空床をショートステイのキャンセル待ちの方にお声をかけ迅速な対応を行った。
 - 収支改善
 - 本入所の待機者の確保とショートステイのロング利用を促し、本入所への切り替えをし、安定した稼働率を目指した。

- サービスの質
 - 感染対策に力を入れ、職員一人一人が高い意識を持つよう努めた。
 - ユニットごとでのイベント・レクリエーションの実施。
 - 感染対策を考慮し、少人数でのクラブ活動の実施。
 - 面会ブースを活用し、ご家族様との面会が可能。
- 人材の確保、育成
 - EPA介護福祉士候補者1名が特定技能一号に変更。
 - ミャンマー3名のうち、2名が日本語検定N2を取得した。
 - 介護主任、リハビリ副主任、栄養課管理栄養士リーダーが昇格し、それぞれの役割分担を決め、進めることができた。
- 地域貢献活動
 - 令和3年11月より月1回第一火曜日に地域支え合い活動として近隣の団地の高齢者の買い物ツアーの送迎を開始。
- 改修工事及び購入物品
 - 面会ブース
 - 東京都_高齢者施設等の感染症対策設備整備推進事業補助金の活用

- 主な指標

- 入所 ※ () の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	99.3%	98.7% (▲0.6%)
平均要介護度	3.5	3.5 (±0)
単価 (人・日)	14,164円	14,455円 (+291円)

- ショート

	2020年度	2021年度
稼働率	94.8%	97.4% (+2.6%)
平均要介護度	3.2	3.2 (±0)
単価 (人・日)	14,740円	14,614円 (▲126円)

平成デイサービスセンター町田（通所介護）【定員：20名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 中重度者ケア体制加算が算定不可となり、単価は減少し、コロナの影響で欠席者も見られたが大きな低迷はなく、年度後半には毎日の登録者数が目標に達し、稼働率の向上により2.6%の増収となった。
 - 稼働率
 - 相談員の退職により一時稼働率は低下したが、後半には一日の利用者数も増え定員20名の日が多くなった。また新規利用者も増加し、欠席者も少なくなったことが稼働率上昇に繋がった。
 - 収支改善
 - 4月は70.6%程であった稼働率が新規利用者の紹介もあり、徐々に上昇、令和4年3月には96.9%となった。現在定員20名であるが、新規利用者の状況を見て来年度は定員数の見直しを図りたい。
 - サービスの質
 - 感染対策の徹底
 - 利用者への個々のこだわりも強いため、一人一人の個性を把握し、気持ちよく一日を過ごしていただけるよう配慮していく。
 - 人材の確保、育成
 - 生活相談員の退職により、介護福祉士1名を生活相談員に配置し、業務、営業等指導を行った。
 - 作業療法士1名を配置し個別機能訓練加算の算定を行っていく。
 - 地域貢献活動
 - 近隣の商店からの出前レクや、好評な生け花など地域に寄り添い、コロナ渦でも楽しめるレクリエーションを実施。

- 主な指標

※（ ）の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	72.9%	81.9% (+9.0%)
平均要介護度	2.0	2.0 (±0)
単価（人・日）	9,940円	9,194円 (▲746円)

2022年 6月 7日

2021年度 事業報告

社会福祉法人 平成記念会

対象事業所

高齢者事業

ヴィラ神奈川（特養）【定員：入所-140名 ショート-20名】

平成デイサービスセンター神奈川（通所介護）【定員：20名】

高齢者事業

ヴィラ神奈川（特養）【定員：入所-140名 ショート-20名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 特養は介護報酬改定に伴い、基本サービス費の増加、新規加算算定を開始した事で単価が上がり増収となった。
 - ショートはコロナの影響によるキャンセル件数増加のため減収となった。
 - 稼働率
 - 空床状況に応じて、特養・ショートステイの相互空床利用を進められたため、目標稼働率である特養99%ショートステイ90%以上を達成できた。
 - コロナの影響により、入所申込者数が減少した月もあったが、入所待機者と退院者で上手くベッドコントロールできた。
 - 収支改善
 - 稼働率の維持・向上に重点を置いた。
 - 介護報酬改定に伴い新規加算を積極的に算定した。
 - サービスの質
 - 感染委員会を中心に実際の場面に即した感染症対策シミュレーションを実施し、感染拡大の防止、サービスの継続に努めた。
 - 感染対策を考慮した施設内で実施できるイベント・レクリエーション、クラブ活動の実施。
 - 人材の確保、育成
 - 職員全員を対象とした個人面談を実施し、職員一人一人の意見を聴取した。
 - ミャンマーから受け入れている技能実習生3名に介護技術試験に向けた実技指導を行い、3名とも合格した。
 - 地域貢献活動
 - 地域の社会福祉施設幹事会に出席し、社会福祉協議会主導の近隣団地内の高齢者送迎サービスの運用に向けた計画を協同で立案した。
 - 改修工事
 - 消防点検時の不備箇所（煙感知器の交換）
 - 厨房内の壁補修

- 主な指標

- 入所

※ () の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	99.3%	99.2% (▲0.1%)
平均要介護度	3.8	3.9 (+0.1)
単価 (人・日)	14,304円	14,647円 (+343円)

- ショート

	2020年度	2021年度
稼働率	98.1%	94.4% (▲3.7%)
平均要介護度	2.9	2.8 (▲0.1)
単価 (人・日)	14,498円	14,389円 (▲109円)

平成デイサービスセンター神奈川（通所介護）【定員：20名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 稼働率の向上、介護報酬改定に伴う、基本サービス費の増加、新規加算算定を開始した事でサービス単価が上がり増収となった。
 - 稼働率
 - コロナの影響により欠席者が多かったが、利用登録者数が増加した事で稼働率が向上した。
 - 収支改善
 - 感染症対策を徹底し、サービス提供を継続できた。
 - 緊急事態宣言下においても感染症対策を実施した上で見学の受入れを継続したことで、居宅介護支援事業所からの新規利用者の紹介が増加した。
 - 人材の確保、育成
 - 職員全員を対象とした個人面談を実施し、職員一人一人の意見を聴取した。
 - オンライン研修に参加し、他施設との意見交換ができた。
 - 地域貢献活動
 - 地域の社会福祉施設幹事会に出席し、社会福祉協議会主導の近隣団地内の高齢者送迎サービスの運用に向けた計画を協同で立案した。

- 主な指標

※（ ）の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	77.7%	80.3% (+2.6%)
平均要介護度	2.2	2.0 (▲0.2)
単価（人・日）	9,194円	9,317円 (+123円)

2022年 6月 7日

2021年度 事業報告

社会福祉法人 平成記念会

対象事業所

高齢者事業

ケアホーム板橋（特養）【定員：ユニット-140名 従来型-60名 ショート-20名】

グループホーム板橋【定員：18名】

ケアハウス板橋（都市型軽費老人ホーム）【定員：一般-20名】

その他事業

大谷口地域包括センター（地域包括）

高齢者事業

ケアホーム板橋（特養）【定員：ユニット-140名 従来型-60名 ショート-20名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 本入所
 - 新型コロナウイルス感染症の影響で稼働率が低下、特にオミクロン株の影響を受けたR4.1月以降のクラスター発生による影響が稼働を大幅に落とすことになり減収の大きな原因となった。
 - 日常生活継続支援加算の要件をクリアできずにR3.12月より算定不可、代わりにサービス提供体制強化加算ⅡをR4.2月より算定開始したが減収となった。
 - ショートステイ
 - 新型コロナウイルス感染症の影響でキャンセル発生率が増えた。本入所同様オミクロン株の影響でR4.1月、2月は特に稼働が落ちる結果となった。
 - 稼働率
 - 本入所は目標の（ユニット）98.5%に対して97.3%、（従来）98%に対して98.1%の稼働。
 - ショートステイは目標85%に対して87.0%を達成した。
 - 収支改善
 - ショートを利用しながら入所待機待ちをされている方について、スムーズに本入所への切り替えを行うことで、空床を減らし減収を防いだ。
 - 人材の確保、育成
 - 研修の実施
 - 実践に即した体験型研修の実施
 - 外部研修への積極的WEBによる参加と資格取得の支援
 - 無資格者への認知症基礎研修の受講を推進
 - 介護職員の喀痰吸引等研修の受講を推進
 - キャリアパス制度導入のための準備
 - 地域貢献活動
 - 地域貢献活動の充実
 - 新型コロナウイルス感染症の為、地域一体となった行事等の企画、

地域行事への参加は思うように実施できなかったが、自治会主催の架け橋まつりや、消防訓練に参加した。

- 地域自治体のコミュニティーバス推進活動の参加
- 事業所、法人として地域の根差した福祉サービスの提供を継続
- 改修工事
 - 特になし
- 主な指標

○ 入所（ユニット型）

※（ ）の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	98.4%	97.3%（▲1.1%）
平均要介護度	3.7	3.7（±0）
単価（人・日）	15,007円	15,119円（+112円）

○ 入所（空床型ショート含む）（従来型）

	2020年度	2021年度
稼働率	98.3%	98.1%（▲0.2%）
平均要介護度	3.7	3.8（+0.1）
単価（人・日）	13,017円	13,405円（+388円）

○ ショート

	2020年度	2021年度
稼働率	75.2%	87.0%（+11.8%）
平均要介護度	3.0	3.0（±0）
単価（人・日）	15,238円	15,572円（+334円）

グループホーム板橋【定員：18名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 満床の維持により、前年比でわずかに増収
 - 稼働率
 - 稼働率は入床平均17.6人の97.8%

- 収支改善
 - 空床にならないために常時待機者を5名確保した。コロナの影響で必要書類の整備に時間がかかり若干空床が発生してからのリカバリーが遅れた。
 - 特養（SSを含む）・ケアハウスからのグループホームへの入居。
- サービスの質
 - 複合施設としての強みを生かす（Ns、PT、OT、ST、RDとの連携）。
- 人材の確保、育成
 - 認知症スペシャリストの養成
 - 東京都企画の研修への参加
- 地域貢献活動
 - 特養に準ずる
- 主な指標 ※（ ）の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	95.5%	97.8% (+2.3%)
平均要介護度	2.1	2.1 (±0)
単価（人・日）	14,269円	14,412円 (+143円)

ケアハウス板橋（都市型軽費老人ホーム）【定員：一般-20名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 退居後のリカバリーが若干遅かったことと、入院者が出たことで全体の収益は減収した。
 - 稼働率
 - 年間の入所4件・退所6件、稼働率は97.0%。
 - 収支改善
 - 空床発生に備え、常時4件の待機に努めたが、退所後の待機者獲得に苦労した。後半は福祉事務所・居宅への営業で徐々に回復した。
 - サービスの質
 - 趣味の充実を図る
 - 新型コロナウイルス感染症の為、密を避ける工夫で入居者の交流スペースを確保した。
 - 映画鑑賞会、食レクを実施した。

- 人材の確保、育成
 - 特養に準ずる。
- 地域貢献活動
 - 特養に準ずる（特養と協働して行う）。

● 主な指標

※（ ）の数値は対前年度の増減

- 一般

	2020年度	2021年度
稼働率	98.6%	97.0%（▲1.6%）
単価（人・日）	4,236円	4,167円（▲69円）

その他事業

大谷口地域包括センター（地域包括）

● 事業報告の概要

- 業績等
 - 収益
 - 職員の退職に伴い総プランが減少し、委託のプランが増えたがわずかに減少
 - 収支改善
 - 人員配置の適正化、業務の効率化の実施（7名以下の配置）
- サービスの質
 - 近隣住民や居宅事業所との連携。緊急時の速やかな対応と緊急避難的入所の対応。
- 人材の確保、育成
 - 包括の事業を理解し、包括の全職員が対応できるように、区主催の研修に参加
- 地域貢献活動
 - 老人クラブへの出前出張講座の実施。
 - 小地域ケア会議の実施。

● 主な指標

※（ ）の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
ケアプラン数	3,700名	3,617名（▲83名）

2022年 6月 7日

2021年度 事業報告

社会福祉法人 平成記念会

対象事業所

高齢者事業

ケアホーム葛飾（特養）【定員：入所-120名 ショート-18名】

高齢者事業

ケアホーム葛飾（特養）【定員：入所-120名 ショート-18名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - コロナ禍での運営による影響、また多数の入居者の入院発生による影響を受けたが、申込者への迅速な対応とショートステイから本入所への切り替え対応、また、介護報酬改定に伴う、基本サービス費の増加、新規加算の算定、さらに開設2年目ということもあり収益は前年度比24.9%増となった。
 - ショートステイは、年度末に発生したコロナ感染症クラスターによる影響や、入院が多数発生した際の本入所への切り替え対応を行った影響を受ける形となったが、収益は前年度比17.2%の増加となった。
 - 稼働率
 - 本入所は2021年度の目標98.4%に対して実績97.7%で未達であった。上半期平均は98.5%であったが、下半期の落ち込みが影響し▲0.7%のGAPを生み出す結果となった。
 - ショートステイは2021年度の目標91.6%に対し実績94.4%。入所要件を満たせない方、医療依存度の高いご利用者様や緊急ショートの受入れを積極的に行った結果、目標達成となった。
 - 収支改善
 - 本入所は待機者の確保と入所待機中の方のショートステイでの受入れを促進し、必要に応じて本入所への切り替えを行い稼働率の安定化を図った。
 - 各部署間の連携強化、各部署の組織体制強化、職務分掌の明確化等に着手し、結果時間外勤務の削減にもつながり、人件費の前年度比▲14.3%を達成し、大幅な収支改善に繋がった。
 - サービスの質
 - 2021年度は介護職員等のたんの吸引研修を3名が受講した。
 - 新入職員への研修内容の充実、また接遇、特に挨拶に関する取り組みを開始し職員が楽しみながら接遇面を改善できる雰囲気作りに努めた。

- 人材の確保、育成
 - 開設2年目、各部署に役職者を立て、組織としての地盤を固める年となった。また、SNS等も積極的に利用し、当施設にて働くイメージを分かりやすく発信することにも注力した。
- 地域貢献活動
 - 昨年度同様にコロナ禍で十分な地域交流・貢献活動ができなかったが、全国各地のお茶農家と当施設をオンラインで繋ぎ、ご利用様と現地の方との交流の場を提供する等の取り組みを継続した。また、地域のラジオ局の福祉番組に出演する等、地域の皆さまに当施設の情報を発信することにより今後のご利用に繋がるような活動も実施した。
 - 近隣公園の清掃美化活動を月1回実施した。
- 改修工事
 - 施設車輛（ハイエース）1台の修繕
- その他
 - コロナ関連の補助金を最大限活用し、感染対策物品を十分に手配し利用者・職員の安心安全の確保に努めた。

● 主な指標

○ 入所

※（ ）の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	78.4%	97.7% (+19.3%)
平均要介護度	4.0	4.0 (±0)
単価 (人・日)	15,046円	15,437円 (+391円)

○ ショート

	2020年度	2021年度
稼働率	89.3%	94.4% (+5.1%)
平均要介護度	3.6	3.2 (▲0.4%)
単価 (人・日)	15,487円	15,693円 (+206円)

2022年 6月 7日

2021年度 事業報告

社会福祉法人 平成記念会

対象事業所

高齢者事業

ケアホーム住吉（特養）【定員：入所-100名 ショート-20名】

高齢者事業

ケアホーム住吉（特養）【定員：入所-100名 ショート-20名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 本入所は2021年4月の開設以降、満床に至らず、2021年度の単月実績で黒字を達成できなかった。
 - ショートステイは2021年4月の開設以降、新規利用者様の獲得に苦戦し稼働率をあげることができず収益に大きな影響が出た。
 - 稼働率
 - 本入所は目標80%に対して実績68.0%であった。2022年1月-3月の平均稼働率は84.0%であった。
 - ショートステイは目標60%に対し実績33.8%であった。入所申込件数が伸び悩み、待機者からLSへの調整がスムーズにできなかった。また、単発利用者様の依頼も少なく目標稼働率を達成することができなかった。
 - 収支改善
 - 本入所は2021年11月より日常生活継続支援加算を算定し、収支の改善を図った。
 - ショートステイは緊急短期入所受入加算を算定した。
 - サービスの質
 - 毎月 施設内研修を2回実施し、職員の介護時術や感染対策、接遇面の向上に資するための勉強会を積極的に開催した。また、感染症については実践に即した体験型研修を実施した
 - 無資格者への認知症基礎研修を1名受講した
 - 2022年度中に認定特定行為業務従事者として施設登録を完了予定。
 - 人材の確保、育成
 - グループで進めている「介護プロフェッショナルキャリア段位制度」における評価者（アセッサー）講習を1名が受講した。

○ 地域貢献活動

- コロナ禍で十分な地域交流・貢献活動ができなかったが、神戸大学附属中学校や住吉学園などの地域と連携しコロナ終息後の企画や連携を進めました。また、灘のだんじり祭りに協賛し施設地基地内から祭りに参加した。また、定期的な広報誌の作成やホームページの情報更新に努めた。

○ その他

- コロナ関連の補助金を最大限活用し、感染対策物品を十分に手配し利用者・職員の安心安全の確保に努めた。

● 主な指標

○ 入所

※ () の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	—	68.0% (—)
平均要介護度	—	3.9 (—)
単価 (人・日)	—	14,478円 (—)

○ ショート

	2020年度	2021年度
稼働率	—	33.8% (—)
平均要介護度	—	3.3 (—)
単価 (人・日)	—	14,695円 (—)

2022年 6月 7日

2021年度 事業報告

社会福祉法人 平成記念会

対象事業所

高齢者事業

グループホーム渭北【定員：18名】

平成デイサービスセンター渭北（通所介護）【定員：23名】

高齢者事業

グループホーム渭北【定員：18名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 要介護度の低下により単価は下がっているが新しい加算の追加と稼働率の増加により収益は上がっている。
 - 稼働率
 - 年間を通して入退居はあったが退居後の新規受け入れに協力機関との連携により前年度より空床の期間が短縮できた。
 - 収支改善
 - 算定可能な加算を取りこぼしなく算定するよう努めた。
 - 業務の見直しを行い無駄を無くすよう努めた。
 - サービスの質
 - 新型コロナウイルスの影響で面会禁止の為、入居者様・ご家族様にオンライン面会を行った。オンライン面会が難しい方には電話での対応やお顔が見えるように窓越しの面会を行った。
 - 面会禁止の為、施設での様子がわかるようご家族様へ写真と代筆でお手紙を書き郵送した。
 - 新型コロナウイルスの影響で外出行事が中止となったため、それに代わる室内行事を考え、密にならず一人一人が楽しめるよう工夫した。
 - 人材の確保、育成
 - 施設外勉強会へのzoomでの研修への参加や施設内での勉強会やe-ラーニングの活用により知識の習得に努めた。
 - 退職者もなく職員の定着率が高い。
 - 地域貢献活動
 - 地域交流
 - 渭北地区防災訓練への参加
 - 地域こども園とのお手紙や作品の交換での交流

- 改修工事
 - 屋上の防水工事
 - 非常用通報装置のバッテリー交換
 - 2階居室以外の蛍光灯一式LEDへの交換
- 資格取得
 - 介護福祉士国家試験に1名合格。
 - 介護支援専門員国家試験に1名合格。

● 主な指標

※ () の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	95.6%	96.7% (+1.1%)
平均要介護度	2.9	2.5 (▲0.4)
単価 (人・日)	12,360円	12,308円 (▲52円)

平成デイサービスセンター渭北（通所介護）【定員：23名】

● 事業報告の概要

○ 業績等

■ 収益

- 通所型サービス利用者様の増加により要介護率の減少
- 改定により基本サービス費のUP・コロナ特例によるサービス費の0.1%上乘せ・科学的介護推進体制加算及び個別機能訓練Ⅱの新規加算算定による単価上昇はあったものの、通所型サービス利用者様の割合が増えたことにより全体の利用単価の減少
- 稼働率の減少・入浴の単位数の変更による減収・個別機能訓練加算の曜日の追加をおこなったが全体として減収

■ 稼働率

- ショート利用者数の増加、キャンセルの方の振替が少なく稼働率の低迷

■ 収支改善

- キャンセル時の振替の声掛けの継続
- 個別機能訓練加算曜日の追加（週4日→週5日）/新型コロナで出向の機能訓練指導員中止時の加算取得に向けての取り組み

- 来期よりADL維持等加算の算定に向けた取組み
- 業務の見直しの継続
- 退院後の利用・コロナ自粛の方へのアプローチ
- サービスの質
 - 感染対策を取りながらのレクリエーションの企画
 - 新型コロナで機能訓練指導員の派遣中止時の個別機能訓練の確保
 - 運動不足解消のための体操・リハビリの継続
 - 重度利用者（胃ろう・バルーン使用）を受け入れる為の研修の実施
- 人材の確保、育成
 - 職員の意識・接遇・技術向上に向けた勉強会（eラーニング研修）の継続
 - 職員の意見交換・情報共有の実施（職員会議・書面等）
 - 未資格者の基礎研修受講
- 地域貢献活動
 - デイ利用者様の作品の展示(渭北コミセン) や介護相談などの地域との交流の継続
 - 渭北地区の防災訓練の参加
- 改修工事
 - 屋上の防水工事
 - 非常用通報装置のバッテリー交換
- 新型コロナウイルス感染対策
 - 消毒・換気の徹底などの環境整備
 - 送迎車の消毒・利用者様受け入れ時の健康状態の観察強化
 - 利用者様・職員の健康管理・体調不良時に休める体制づくり
- 主な指標 ※（ ）の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	77.0%	75.7% (▲1.3%)
平均要介護度	1.8	1.6 (▲0.2)
単価（人・日）	7,705円	7,672円 (▲33円)

2022年 6月 7日

2021年度 事業報告

社会福祉法人 平成記念会

対象事業所

高齢者事業

グループホーム八万【定員：18名】

八万小規模多機能センター（小規模）【登録定員：29名】

高齢者事業

グループホーム八万【定員：18名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 平均要介護度は低下したが、稼働率の3%アップと介護報酬改定に伴う、基本サービス費のアップ、9/30まで基本サービス費0.1%上乗せ特例により、前年度比は、増加し年間収益は上がった。
 - 稼働率
 - 年末の11月、12月は急な体調不良や骨折等の入院が続き、稼働率を低下させてしまったが、その後の新規受け入れは昨年よりスムーズに行えたので、3%の稼働率アップに繋がった。
 - 収支改善
 - 稼働率を低下させないように、連携の強化を行った。
 - 作業効率を重視し、無駄が無いように業務改善を行った。
 - サービスの質
 - 新型コロナウイルスの影響で、外出や面会が出来ない日々が続いている為、毎月の行事では外食した気分を味わって頂けるようなレストランのお弁当を召し上がって頂いたり、作品を一緒に作ったり、おやつ作りを一緒に行うなど、工夫を凝らし少しでも楽しい時間を過ごして頂いた。
 - お天気のいい日には、施設内の駐車場に散歩に出掛けたり、庭の花の観賞や野菜の収穫など、気分転換を図って頂き、毎日のラジオ体操や理学療法士の指導の下リハビリを行い、ADLの低下予防を行った。
 - 人材の確保、育成
 - 夏に1名退職、冬に1名入職があり、職員数に変化はなかった。
 - 無資格の職員2名は介護基礎研修を受け、職員1名は介護福祉士の資格を取得した。
 - 地域貢献活動
 - 町内会活動には積極的に参加していたが、新型コロナウイルスの影響で、行事も中止が多く、参加の機会は少なかったが、昨年末の12月行われた町内清掃では町内の方と久しぶりに交流が出来た。
 - 災害時の避難場所は継続。
 - 改修工事
 - 居室以外の電球をLEDに交換

- 主な指標

※ () の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	91.9%	94.9% (+3.0%)
平均要介護度	2.6	2.4 (▲0.2)
単価 (人・日)	12,264円	12,349円 (+85円)

八万小規模多機能センター（小規模）【登録定員：29名】

- 事業報告の概要

- 業績等

- 収益

- 2021年2月より定員が24名から29名となり、2021年度は月平均26名の登録利用者を確保したため、年間収益が上がった。
- 平均要介護度が下がったが、介護報酬改定に伴う、基本サービス費の増加、新規加算の算定開始、また認知症加算算定対象の利用者数の増加、泊りのサービスの利用が増えたことにより、単価は増額となった。

- 稼働率

- 周辺居宅や病院の連携室等からの紹介を積極的に受け入れ、前年度と比較し0.7%アップの90.0%となった。

- 収支改善

- 重度な方のグループホーム入居や急逝等もあり登録者数が減ったこともあったが、病院・居宅からの紹介もあり、大きな減少なく、安定した収入が確保できた。

- サービスの質

- 家族様との連携を図り、訪問・通所・泊りのサービスを組み合わせ、病院受診などの介助も積極的に行った。ご家族様が遠くに住んでいる、独居の利用者様については、コロナの影響で面会が出来ず不安を感じられているご家族の為にも、日ごろからこまめに情報共有を行うようにした。

- 人材の確保、育成

- 2月にの看護職員（非常勤）の入職
- 退職者はなく、年間を通じて雇用は安定
- 介護福祉士受験を積極的に進め、1名介護福祉士に合格。また、無資格の介護職員に対しても介護基礎研修の受講を行うなど、各職員に応じたキャリアアップを進めた。

○ 地域貢献活動

- 町内会の一員として町内会活動などに参加しているが、2021年度も、コロナの影響で、町内運動会などは中止となった。行事参加の機会は減ったが、2021年12月の町内会清掃は実施され、町内の方と交流を行うことができた。

● 主な指標

※ () の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
登録率	89.3%	90.0% (+0.7%)
平均要介護度	1.8	1.7 (▲0.1)
単価 (人・月)	198,861円	200,334円 (+1,473円)

2022年 6月 7日

2021年度 事業報告

社会福祉法人 平成記念会

対象事業所

高齢者事業

那賀町鷺敷デイサービスセンター（通所介護）【定員：35名】

高齢者事業

那賀町驚敷デイサービスセンター（通所介護）【定員：35名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 全体の収益が前年より10%以上減少
 - 介護度の高い利用者の受け入れをし、新規も前年度よりは多かったが持ち直さなかった。
 - 稼働率
 - 営業活動にも力を入れたがショート利用者が増え稼働率の持ち直しは厳しかった。
 - 新規・体験者数は前年度よりは増加したが、稼働率増加までには繋がらなかった。
 - 収支改善
 - 業務の効率化を図るため、各業務の人員配置の見直し
 - 営業活動や口コミでの利用者確保を実施
 - ミーティングにて備品の使用頻度などの確認・改善
 - 介護報酬改定での新たな加算算定
 - 個別機能訓練加算（Ⅱ）
 - 科学的介護推進体制加算
 - 感染症等対応加算（3%加算）9/30まで
 - サービス提供体制強化加算（Ⅰ）22単位
 - 個別機能訓練加算だけを見ると算定人数も増え、新たな加算算定もあり、わずかだが収入増となった。しかし、加算全体では昨年より加算算定できるものが増えたものの、利用人数の減少、稼働率の低下の為、結果として収入増加にはつながらなかった。
 - サービスの質
 - 利用者目線で残存機能の低下防止
 - 職員の個々の技術面を生かし全員で利用者目線のサービスの提供
 - 人材の確保、育成
 - 勉強会の実施
 - 地域貢献活動
 - 自立支援ケア会議への参加
 - 地域ケアカンファレンスへ参加

- 改修工事
 - 雨漏り修復工事
 - 電球をLEDへ交換
- 新型コロナウイルスへの対応
 - 基本的な感染対策の徹底
 - 職員・利用者の体調管理の把握

- 主な指標

※ () の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	76.5%	62.3% (▲14.2%)
平均要介護度	1.6	1.6 (±0.0)
単価 (人・日)	7,703円	7,759円 (+56円)

2022年 6月 7日

2021年度 事業報告

社会福祉法人 平成記念会

対象事業所

高齢者事業

平成デイサービスセンター平田（通所介護）【定員：50名】

平成在宅介護支援センター平田（居宅）

高齢者事業

平成デイサービスセンター平田（通所介護）【定員：50名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 2021年度は事業所規模が通常型⇒大規模型（Ⅰ）となり基本サービス費の単価は下がった。介護報酬改定に伴い変更があった個別機能訓練加算Ⅰについては、機能訓練指導員2名体制で算定を行い増収となったが、単位数が減少となった入浴介助加算については、減収となった。新設加算である科学的介護推進体制加算の算定により、加算全体では前年と比較して増収となった。
 - 稼働率
 - コロナ禍ではあるが、体験利用者も42名/年、新規利用者は41名/年獲得でき、前年度比0.7%増となった。
 - 収支改善
 - コロナの影響により、外部委託リフレクソロジー等マッサージが中止となり、一部費用が減少
 - サービスの質
 - コロナ禍の対応として、2フロア（1階と3階）でのサービス提供はそのまま継続して行っており、ゆったりとした空間で過ごしていただいた。
 - 卓上でのレクが多くなるため、創作活動を取り入れ、自作の作品を持って帰って飾っていただくレクが好評であった。
 - 毎月行っている自施設での勉強会には介護・看護の全職員が参加しており、内容を充実させ職員一人一人の質を向上し、施設のレベルアップを図った。
 - 人材の確保、育成
 - 非常勤看護職員の退職があった。すぐに職員補充はできたが通所介護での看護経験がなく2カ月は常勤看護職員に付き、不安なく職務に取り組んでもらった。
 - 地域貢献活動
 - 岩国市シルバーハウジング委託業務にて住居者の生活相談を行った。
 - 改修工事
 - 浄化槽の修繕工事
 - 厨房内の給水管の新設交換工事
 - エアコンのオーバーホール

- 主な指標

※ () の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	91.6%	92.3% (+0.7%)
平均要介護度	1.7	1.8 (+0.1)
単価 (人・日)	8,913円	8,630円 (▲283円)

平成在宅介護支援センター平田 (居宅)

- 事業報告の概要

- 業績等

- 収益

- 前年度よりケアプラン数を103件増やすことができ、約140万円/年の増収となった。(ケアプラン数_2021:134件/月 2020:125件/月)

- 収支改善

- 計画書作成件数が大幅に増えたことで収益は増大となり、それに加えて初回加算や入院時や退院時の加算も取りこぼすことなく算定することができた。

- サービスの質

- 介護サービス情報公表や自己評価を実施するとともに、適切な保険医療サービス及び福祉サービス、施設サービス等多様な事業所との連携により、総合的に計画が作成できるよう心がけた。

- 人材の確保、育成

- 令和3年度は常勤3名、非常勤1名で変動なく業務を遂行することができた。
- 介護支援専門員としての資質向上、専門的知識、技術向上を図るため、毎月の研修会の実施、また地域の事例検討会へ参加し日々研鑽に努めた。

- 地域貢献活動

- 新型コロナウイルスが収まらないまま令和3年度が始まり、毎年受け入れていた実習生の受け入れを引き続き中止せざるを得なかった。
- 地域の方からの相談に応じ、必要時には介護保険の代行申請を行った。

- 主な指標

※ () の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
ケアプラン数	1,510名	1,613名 (+103名)
平均要介護度	2.1	2.0 (▲0.1)
単価 (人・月)	11,305円	11,495円 (+190円)

2022年 6月 7日

2021年度 事業報告

社会福祉法人 平成記念会

対象事業所

高齢者事業

平成デイサービスセンター黒磯（通所介護）【定員：35名】

平成ホームヘルプステーション黒磯（訪問介護）

高齢者事業

平成デイサービスセンター黒磯（通所介護）【定員：35名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 要介護者の増加、平均要介護度の上昇により増収となっている。
 - 令和3年度報酬改定に伴い、基本サービス費の単位数増加や新加算の算定により増収となっている。
 - 単位数の増加
 - 基本単位数の増加
 - 新たな加算の算定
 - 科学的推進加算
 - 口腔・栄養スクリーニング加算
 - 個別機能訓練加算の単位数増加
 - 減収、終了、変更となった加算
 - 入浴介助加算
 - 算定終了となった加算
 - 基本単位数に0.1%の上乗せ
 - 令和3年9月30日で終了
 - 稼働率
 - 要介護者が増加する半面、利用回数の多い利用者が自宅での生活が困難となり入所が増加した。
 - 在宅での生活は継続したいが、家族負担が増加しショートステイを併用する利用者が増加。
 - 体験人数は前年度に比べ増加したが、ハード面で利用が難しい方や利用者数で新規利用に繋がらず、新規獲得率は減少した。
 - 2020年度 体験者数 37名 内新規獲得 32名
 - 2021年度 体験者数 42名 内新規獲得 23名
 - 収支改善
 - 中国整体、あんま、フラワーアレンジメントが中止となっている事で一部支出の減少
 - サービスの質
 - 重介護者を受け入れる際の事前訪問にて、身体レベルや状態の確認を密に行い、その情報を職員に周知し提供サービスの統一化を図った。
 - 医療面が必要な利用者が増え、職員の技術面での向上もみられた。

- 地域連携ツールに参加し、他サービスとの連携を強化でき、主治医との直接の情報共有も図れ、体調変化時の早期対応がしやすくなった。
 - 人材の確保、育成
 - 定期的な研修会を実施し、職員の知識向上や技術向上を行う事ができた。
 - 定期的な業務内容の見直し、業務負担の偏りがないように変更した。
 - 地域貢献活動
 - 近隣の保育園と月に1回の交流を行っていたが、新型コロナウイルスの感染予防の為に来訪を中止。その代わりに利用者様に園児へのプレゼントを作製してもらい保育園に持参する。園児からも手紙を頂いたり、散歩の途中でバス停から手を振っていただく等、交流は軽度ではあるが継続できた。
 - 改修工事
 - 天井雨漏り修繕
 - ボイラー修理
 - 浴室用給湯器増設

● 主な指標

※ () の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	87.8%	87.3% (▲0.5%)
平均要介護度	1.8	2.0 (+0.2)
単価 (人・日)	8,490円	8,541円 (+51円)

平成ホームヘルパーステーション黒磯（訪問介護）

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 連日訪問の利用者の施設入所や死亡、入院等が重なり、延べ人数が大幅に減少した為、前年度に比べ減収となった。
 - 延べ人数は減少しているが、生活援助より身体介護のケースの割合が増えており、単価の上昇が見られた。
 - 稼働率
 - 業務の効率化や訪問ルートの見直しで、移動時間や待機時間の削減ができた。
 - 収支改善
 - ターミナルの利用者の受け入れ等も積極的に行ったが、年度当初までの利用者数には回復しなかった。
 - サービスの質
 - 居宅やヘルパー間の連携を密にし、利用者の状況やサービス内容等の情報共有に努め、適切なサービス提供、質の向上を図った。
 - 人材の確保、育成
 - 年間の研修計画に沿って、毎月の研修を全員が参加できるよう複数回実施した。
 - その他
 - 新型コロナウイルスへの対応として、標準予防策を徹底した。
- 主な指標

※（ ）の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
延べ人数	4,610名	3,675名（▲935名）
平均要介護度	2.1	2.2（+0.1）
単価（人・日）	4,373円	4,484円（+111円）

2022年 6月 7日

2021年度 事業報告

社会福祉法人 平成記念会

対象事業所

高齢者事業

グループホーム鳴門【定員：18名】

平成デイサービスセンター鳴門（通所介護）【定員：25名】

鳴門小規模多機能センター（小規模）【登録定員：29名】

高齢者事業

グループホーム鳴門【定員：18名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 利用者様の状態に合わせて、区分変更実施を行った。
 - 基本サービス費の増額、またコロナ特例の9/30までの基本サービス費0.1%上乘せ、新設加算もあり一人当たりの単価は前年度に比べ増加した。
 - 必要性のある方に加算算定を行い単価アップを図ったが、収益は前年度より減少となった。
 - 稼働率
 - 今年度は毎月入院があり空床数が目立った。
 - 退所後から次の入所までに日数がかかり、稼働率も前年度より減少している。
 - 収支改善
 - 業務効率化を進めるため、働きやすい環境への取り組み
 - 備品在庫の把握、無駄がないか確認し経費削減
 - 加算算定や、介護度の見直し実施
 - サービスの質
 - 面会禁止が続いているため以前より多く家族様に連絡を入れ、利用者様の状態をお伝えするなどして、家族様との交流を図った。
 - 県外や外国にいるご家族と、オンライン面会を定期的に行った。
 - 利用者様の意見を聞いて、短時間ではあるがドライブに出掛けたり、ホール内の飾りを一緒に作成したりした。
 - 人材の確保、育成
 - 業務内容の見直しを実施し、負担軽減を図った。
 - 勉強会の実施
 - 入職・退職者数は1名ずつであった。職員数に変わりはなく安定していた。
 - 地域貢献活動
 - 鳴門市作品展への出品参加を行った。
 - 介護相談員さんとの定期的なオンライン面談実施。その他はコロナ影響により参加はできていない。

- 改修工事
 - 2階フロア・居室のLED電球交換工事（2021年12月）

- 主な指標

※（ ）の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	94.1%	93.6%（▲0.5%）
平均要介護度	2.8	2.8（±0）
単価（人・日）	12,200円	12,248円（+48円）

平成デイサービスセンター鳴門（通所介護）【定員：25名】

- 事業報告の概要

- 業績等

- 収益

- 4.5月に新型コロナウイルス感染症罹患者2名あり、ワクチン2回目接種が完了するまでの利用控えが影響し減収。
- コロナ特例の2区分UPの終了や入浴単位数減少があり減収となったが基本サービス費増加や新規加算算定、感染症3%加算適用や9/30までの基本サービス費0.1%上乘せがあり結果的に増収となった。

- 稼働率

- 新型コロナウイルスの影響により自粛される利用者が増加。また体験数、新規利用数ともに前年度より3割減少。
- 小規模への移行・入院が重なり、稼働率も低迷。
- 営業活動も工夫し力を入れたが、持ち直しは厳しかった。

- 収支改善

- キャンセル時の振替の声掛け、コロナ自粛の方へのアプローチ。
- 生活機能向上連携加算算定に向けたアプローチ。
- 営業活動の強化、訪問件数の増加。
- 業務見直しの継続。

- サービスの質

- 感染対策を継続し、レクリエーションやイベントの質を確保し、満足いただけるサービスの提供。
- 新型コロナの影響で理学療法士派遣中止時の生活機能訓練の確保。

- 職員個々の資格や技術を生かし、利用者目線のサービスの提供。
- 人材の確保、育成
 - 定期的に業務内容を見直し、業務負担を減らせるよう変更。
 - 職員の意識・待遇・技術向上に向けた勉強会の継続。
- 地域貢献活動
 - 新型コロナの影響により地域行事が中止となり、活動が十分に出来なかった。
 - ボランティアの招致も出来なかった。
 - 地域包括自立支援ケア会議への参加。
- 改修工事・備品修理及び購入
 - フロア全体LED照明に交換
 - 送迎車両修繕（車検）
- 新型コロナウイルスへの対応
 - 二重マスク、換気、環境消毒整備の徹底。
 - 透明アクリル板設置・環境整備などの感染対策。
 - 職員、利用者の健康管理・休める体制。

● 主な指標

※（ ）の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	74.6%	74.1% (▲0.5%)
平均要介護度	1.7	1.7 (±0)
単価（人・日）	7,535円	7,715円(+180円)

鳴門小規模多機能センター（小規模）【登録定員：29名】

● 事業報告の概要

○ 業績等

■ 収益

- 前年度より登録者数は上がったが、平均介護度が下がった事により、全体の収益減に繋がった。
- 前年度に比べ、在宅の利用者より、併設の有料老人ホームからの利用者が増えたことにより、基本単価の同一建物減算が生じた為、収益が下がった。
- 基本サービス費の増加、コロナ感染症特例で9月30日までの0.1%基本サービス費の上乗せ、新たに科学的介護推進体制加算の算定も行ったが、収益増には繋がらなかった。

- 稼働率
 - 前年度と比べ、上がっているが、入院になる方も多かった。サービスを長く定着して利用して頂くことが出来ず、登録者数が伸び悩んだ。
- 収支改善
 - 定期的な介護度の見直しを行った。
 - 入退院時の医療機関との連携により、速やかに在宅に戻っていただけるように支援を行った。
 - 物品購入や使用に関して無駄がないか日々注意し、経費削減に努めた。
- サービスの質
 - 通所ではコロナの感染対策を行いながら、季節行事やレクリエーション活動実施についてマンネリ化しないように新しい内容を取り入れるなど、利用者を楽しんでいただけるように取り組んだ。
 - 訪問や宿泊では、本人様や家族様の状態やご希望に応じて柔軟にサービスを提供することができた。
- 人材の確保、育成
 - 入退職者はなし。職員は定着しているが、人員が不足しており、求人を依頼中。急な宿泊への対応も難しいケースもあった。
 - 職員の知識、技術向上の為、予定通り勉強会を実施。
 - 業務負担軽減の為、個々の役割分担や業務担当等に偏りがいないか定期的な確認を行った。
- 地域貢献活動
 - 引き続き、婦人会へ入会しているが、コロナの影響もあり、定期的な活動は中止となる事が多く、活動には参加出来なかった。
 - 引き続き、老人会や自治会、婦人会の各会長様、地域包括支援センターと連絡を取ったり、訪問し、地域の現状や困っている事を聞き取るなど、関係性の維持に努めた。
- 主な指標 ※ () の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
登録率	49.7%	54.0% (+4.3%)
平均要介護度	2.2	2.0 (▲0.2)
単価 (人・月)	190,414円	172,063円 (▲18,351円)

2022年 6月 7日

2021年度 事業報告

社会福祉法人 平成記念会

対象事業所

高齢者事業

平成デイサービスセンター徳島（通所介護）【定員：25名】

メディケアハウス平成（有料老人ホーム）【定員：20名】

高齢者事業

平成デイサービスセンター徳島（通所介護）【定員：25名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 全体の収益は稼働率の向上により前年度比で増加
 - 介護報酬改定に伴う減収
 - 2区分UP制度が2021年3月で終了
 - 入浴単位数減少
 - 総合事業利用者の増加により要介護率の減少
 - 同一建物減算の割合増加
 - 介護報酬改定に伴う増収
 - 基本サービス費の増加
 - LIFE関連の新規加算の算定
 - サービス提供体制強化加算の単位数増加
 - 稼働率
 - 新型コロナウイルスの影響により自粛される利用者や入院される利用者が多く前期は低迷していたが、営業活動を強化、訪問件数を増やし紹介数の増加に繋げることができ後期は上昇傾向となった。
 - 8月に新型コロナウイルス感染の利用者が発生、休業や自粛にて稼働率の低下に繋がってしまったが、前期の営業結果が後期の稼働率上昇に繋がった。
 - 収支改善
 - 営業活動の強化、訪問件数の増加
 - 安定した稼働率の維持の為待機利用者の確保
 - サービスの質
 - 感染症対策を行いながらレクリエーションやイベントの質を維持、満足頂ける介護サービスの提供体制の推進
 - 接遇の意識、技術向上に向け研修会の実施
 - 新型コロナウイルスによる機能訓練指導員の派遣中止時の個別機能訓練の確保
 - 人材の確保、育成
 - 定期的な業務内容の見直しを行い、業務負担の偏りが無いように変更を実施。
 - 人材の確保ができるよう稼働率の増加、収支向上に努めた。

- 未資格者の基礎研修受講
- 地域貢献活動
 - 新型コロナウイルスの影響により地域行事への参加や実施ができなかった。また、毎年行っていた地域のボランティアの招致もできなかった。
- その他
 - 新型コロナウイルスへの対応
 - 環境整備、消毒など感染対策の徹底
 - 利用者、職員の健康管理

● 主な指標

※ () の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	70.7%	77.5% (+6.8%)
平均要介護度	1.8	1.7 (▲0.1)
単価 (人・日)	7,325円	7,275円 (▲50円)

メディケアハウス平成（有料老人ホーム）【定員：20名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 2018年9月より新規入居者のみ家賃、管理費増額のため、単価はわずかに増加（前年度比 26円増）
 - 稼働率
 - 新型コロナウイルス感染者発生のため、感染者、濃厚接触者の入院中未請求、また、入退居の調整が遅くなったこともあり減少（前年度比1.0%減）
 - 収支改善
 - 待機者確保のための営業活動強化
 - 業務内容の効率化、人件費削減
 - サービスの質
 - 新型コロナウイルスによる面会禁止時期の生活、精神的フォロー
 - 人材の確保、育成
 - 体調不良時に休みやすい職場環境づくり
 - 研修の実施

- 地域貢献活動
 - 新型コロナウイルスの影響で、地域行事は中止
- 新型コロナウイルスへの対応
 - 環境整備、消毒などの感染対策の徹底
 - 入居者、職員の健康管理

- 主な指標

※ () の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	97.2%	96.2% (▲1.0%)
単価 (人・日)	2,623円	2,649円 (+26円)

2022年 6月 7日

2021年度 事業報告

社会福祉法人 平成記念会

対象事業所

高齢者事業

訪問ステーションてとと東大阪（訪問看護）

高齢者事業

訪問ステーションてとと東大阪（訪問看護）

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 全体の収益は前年度に比較し増収
 - 看護利用者からリハビリ、また逆にリハビリ利用者から看護に繋げるケース増
 - スタッフの意識にも変化あり、トータルした在宅看護サービスの提供が可能になってきている
 - 上記継続の結果コンスタントに新規依頼もあり、今年度は1年間、損益分岐点を下回ることなく運営
 - 稼働率
 - 新型コロナウイルスによる影響や、例年通り季節等の影響を受け一時的に稼働率が上下する時期もあるが、そのような時期もトータルとして大幅に稼働率を下げることなく運営
 - 業務効率の向上
 - スケジュール調整や業務分配及び整理を実施
 - 職員による業務負担の偏りを減らし、効率化を図ることで安定したサービス数の提供が可能になった
 - 看護部に新しくリーダー役を設置することで指示系統を整理し、業務処理に要する時間を短縮し効率化を図ることができた
 - 訪問人員確保
 - 2021年度中に看護職員が全体の6割以上には達せず
 - 年度末時点で看護人員は全体の3.6割
 - リハビリ職員は年度途中で職員の入れ替えあるも人員数は維持
 - 看護人員にあわせて増員検討していく
 - サービスの質の確保・人材育成
 - 同行訪問・OJTの実施
 - 職員同士で同行訪問を実施し意見交換の場を設けることで多角的な視点からアセスメントを実施
 - スタッフの特性にあわせた教育体制の強化をはかった
 - カンファレンスを定期的を実施
 - 問題点の整理とともに、現在のケア内容や目標の確認・検討できる場を設けた

- また定期以外にも、適宜カンファレンスや実技指導も実施し知識・技術の底上げを図った
- 事故を未然に防ぐようにKYTを実施
 - ひとりひとりが事故を未然に防ぐという意識付けを実施
 - 今年度の事故件数
 - 看護は処置中の軽微なインシデントが2件あるも、その他大きな事故無し
 - リハビリはサービス訪問時における転倒・転落事故は0件
- 職場環境の整備
 - 休憩スペースの設置
 - 食事スペースは会話禁止のため、休憩スペースを確保しリラックスできる環境を作った
 - 業務にメリハリをつけ、効率・質の向上を図ることができた
 - 職員との定期的な面談を実施
 - 半期に1回実施
 - 社会的マナーや業務内容等を盛り込んだチェックシートを使用
 - チェックシートをもとに管理者と面談し半期の振り返りと来期の目標を確認
 - 業務だけでなく、些細な疑問や不安な事、必要に応じてプライベートな悩み等も聴取
 - 事業所のハード面や、人間関係等のソフト面から働きやすい環境にしていけるような取り組みを実施
 - その他、必要に応じて随時個別面談も実施
- 地域貢献活動
 - コロナ禍や人員不足ということもあり、2021年度は地域貢献活動はできず
 - 日々、地域のニーズに応えられるよう、居宅事業所や主治医への挨拶まわりは継続して実施
- 主な指標

※ () の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
延べ人数	17,613名	17,538名 (▲75名)
平均要介護度	2.7	2.7 (±0.0)
単価 (人・日)	4,288円	4,366円 (+78円)

2022年 6月 7日

2021年度 事業報告

社会福祉法人 平成記念会

対象事業所

高齢者事業

訪問ステーションてとてと小平（訪問看護）

訪問ステーションてとてと小平（訪問介護） 2022.3.31で事業廃止

訪問ステーションてとてと小平（居宅）

高齢者事業

訪問ステーションてとと小平（訪問看護）

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 5名体制から3名体制となったため、全体の収益は前年度より微減
 - 医療必要度の高い方（特にターミナルケアを必要とする方）の受け入れにより単価アップあり
 - 稼働率
 - 前年度と比較し、受け入れ体制の整備を実施。前期より重症者の在宅看護の利用に繋がった。
 - 職員に関して、産休、休職者、採用を年度末に実施。夜間対応の人員を増加し稼働率向上を図った。
 - 収支改善
 - 人員配置の適正化、業務の効率化の実施
 - 医療保険利用者の増加
 - サービスの質
 - 利用者最優先で、個々の技術面のみならずチームとして質の高い介護サービスの提供体制の推進
 - 人材育成、職場環境の整備
 - 研修の実施
 - 新入職員や介護未経験者に対するOJT研修体系の確立
 - 職種、経験や個人の特性に即した研修の実施
 - 法人、グループ内の連携
 - 後方支援病院と連携を取り、退院者予定者で訪問看護の利用が必要な方の今後の支援について、看護部長、事務長、リハビリ係長と共に月2回会議を用いて共有し業績改善に努めた。
 - 地域貢献活動
 - 市単位の連絡会に参加し、地域で問題定義されている内容などを把握対策を練り、必要であればグループ内でも共有を行い解決に努めた。

- 新型コロナウイルスへの対応
 - 標準予防策、環境整備など感染対策の徹底
 - 職員へのワクチン接種の実施

- 主な指標

※ () の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
延べ人数	9,583名	9,547名(▲36名)
平均要介護度	2.7	2.3 (▲0.4)
単価 (人・日)	4,953円	5,389円 (+436円)

訪問ステーションてととと小平（訪問介護）2022.3.31で事業廃止

- 事業報告の概要

- 収益

- 全体の収益は前年度とより減少
 - コロナ特例による補助金あり

- 稼働率

- 前年度と比較し、人員体制の安定性、営業活動を強化、受け入れ体制を整備し、前期は安定的にサービス提供が可能となったが、後期の人員体制の不安定、利用者の減少もあり、今後は訪問看護、居宅事業拡大のため事業閉鎖を決断

- サービスの質

- 利用者最優先で、個々の技術面のみならずチームとして質の高い介護サービスの提供体制の推進
 - 利用者最優先での良質なサービス提供を行った。
 - 緊急時訪問サービスなどを提供し、単発的な介入回数の増加を行った。

- 人材育成、職場環境の整備

- 前年度では退職者などもあり、人員不安定であったが、今年度は少し安定した。

- 法人、グループ内の連携

- 後方支援病院と連携を取り、退院者予定者で訪問介護の利用が必要な方の今後の支援について、看護部長、事務長、リハビリ係長と共に月2回会議を用いて共有し業績改善に努めた。

- 地域貢献活動

- コロナウイルスによる研修中止や地域活動中止

- 事業所、法人として地域に根差した福祉サービスの提供を継続していく。
- 新型コロナウイルスへの対応
 - 標準予防策、環境整備など感染対策の徹底
 - 職員へのワクチン接種の実施
 - ポストコロナ患者の受け入れの実施

● 主な指標

※ () の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
延べ人数	3,916名	3,130名 (▲786名)
平均要介護度	2.7	2.3 (▲0.4)
単価 (人・日)	4,264円	4,354円 (+90円)

訪問ステーションてとと小平 (居宅)

● 事業報告の概要

■ 収益

- 全体の収益は前年度より上昇
- 2名体制から3名体制となりより利用者増加があり。
- 後方支援病院との連携強化により、月毎の居宅利用者が増加。
- コロナ特例による補助金あり

■ 稼働率

- 前年度と比較し、営業活動を強化、受け入れ体制を整備
- 主任ケアマネジャーを獲得し3名体制で稼働となる。

■ 収支改善

- 要支援者と要介護者の受け入れの整備を行い要介護者の割合を増加し単価の増加を行った。

○ サービスの質

- 利用者最優先であると共に、地域包括、後方支援病院と連携向上し、入退院の円滑さ向上、通所事業などの在宅サービス提供を強化を行う。

○ 人材育成、職場環境の整備

- 主任ケアマネを中心とした研修や相談などを適宜実施

○ 法人、グループ内の連携

- 後方支援病院の地域連携部と都度連携を取り合い、在宅に繋げられる方、急な入院が必要な方の情報共有を行った。
- てとと小平の現状を、後方支援病院の、看護部長、事務長、リハビリ係長と共に月2回会議を用いて共有し業績改善に努めた。

- 地域貢献活動
 - コロナウイルスによる研修中止や地域活動中止
 - 事業所、法人として地域に根差した福祉サービスの提供を継続した。
 - 新型コロナウイルスへの対応
 - 標準予防策、環境整備など感染対策の徹底
 - 職員へのワクチン接種の実施
 - ポストコロナ患者の受け入れの実施
- 主な指標 ※ () の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
ケアプラン数	716名	821名 (+105名)
平均要介護度	2.6	2.2 (▲0.4)
単価 (人・月)	12,246円	12,542円 (+296円)

2022年 6月 7日

2021年度 事業報告

社会福祉法人 平成記念会

対象事業所

高齢者事業

訪問ステーションてとと徳島（訪問看護）

訪問ステーションてとと徳島（居宅）

高齢者事業

訪問ステーションてとと徳島（訪問看護）

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 訪問スタッフの増加により、サービス提供回数が増加
 - 常勤換算（前年度比）
 - 看護師：+1.3名、リハ：±0名
 - 提供回数（前年度比）
 - 看護：介護保険+761回、医療保険+197回
 - リハ：介護保険+1,364回、医療保険+140回
 - 加算取得の増加（前年度比）
 - 初回加算：+9回
 - 緊急時加算：介護保険+172回、医療保険+12回
 - 特別管理加算：介護保険+35回、医療保険+6回
 - 時間外オンコール対応の増加
 - 早朝・夜間・深夜・訪問加算：+26回
 - コロナ特例による補助金あり
 - 訪問看護感染症対策実施加算：+75回
 - 稼働率
 - 職員増加に伴い、オンコール訪問、土日祝日訪問の体制強化
 - 平日日勤帯以外のサービス訪問回数の増加につながった
 - 既存利用者のサービス内容を見直し、週あたりの提供回数の増加、別職種の訪問併用によるサービス提供回数の増加につながった
 - 収支改善
 - 訪問診療医師との連携強化に努め、新規利用者の紹介件数の増加につながった
 - サービスの質
 - ターミナル利用者への看取り強化を行い、看取り件数の増加につながった
 - +11名
 - 重度医療が必要な利用者に対しては、特定行為研修修了者の看護師が中心に訪問
 - 糖尿病、呼吸器疾患等、特有の疾患に対するリハビリは、認定資格をもつセラピストが訪問

- 人材の確保、育成
 - 後方支援病院との連携による人員配置の適正化
 - 研修の実施
 - 年間研修計画を立案し、計画に沿って研修を実施
 - 多職種での症例検討会を実施し、職種を越えて知識を共有
 - オンライン学習を利用して、業務の合間で研修
 - 法人、グループ内の連携
 - 後方支援病院、てとてとグループ間での会議、連携を実施し、情報共有しながら事業運営を進めた
 - 地域貢献活動
 - 直接、利用者からのサービス利用依頼に対して、積極的に受け入れを実施
 - ケアマネジャーからの困難事例に、アドバイス、受け入れ対応を実施
 - その他
 - 新型コロナウイルスへの対応
 - 標準予防策、環境整備など感染対策の徹底
- 主な指標 ※ () の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
延べ人数	12,188名	15,864名 (+3,676名)
平均要介護度	2.2	2.0 (▲0.2)
単価 (人・日)	5,047円	4,954円 (▲93円)

訪問ステーションてとてと徳島（居宅）

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 担当数の増加により前年度比で増収
 - 稼働率
 - 地域包括支援センターへの営業により、予防から介護へと区分変更した利用者を紹介してもらったことで、契約数の回転率を高めた
 - 収支改善
 - 後方支援病院との連携強化
 - 在宅診療医、地域包括支援センターとの連携強化
 - サービスの質
 - 介護保険制度を熟知し、利用者一人一人に合ったケアプランの立案

- 主任ケアマネ取得に向けての外部研修会へ積極的に参加
- 利用者宅への訪問、主治医への通院同行の回数を増やし、利用者、家族、また主治医と、顔の見える関係づくりに努めた
- 人材の確保、育成
 - 無料求人媒体を中心に求人活動を実施、またグループ内でのケアマネ転職希望者を調査
 - 研修の実施
 - 年間研修計画を立案し、計画に沿って研修を実施
 - グループ内の居宅支援事業所間で症例検討会を実施
- 法人、グループ内の連携
 - グループの居宅支援事業所と連携し、悩みの共有、問題点の解決等を実施
 - てとてとグループでの会議にて、制度の相談、件数増加に向けて検討を実施
- 地域貢献活動
 - 地域ケア会議へ参加し、難渋事例へのアドバイスを提示
- その他
 - 新型コロナウイルスへの対応
 - 標準予防策、環境整備など感染対策の徹底
- 主な指標 ※ () の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
ケアプラン数	754名	810名 (+56名)
平均要介護度	2.0	2.0 (±0)
単価 (人・月)	12,032円	12,237円 (+205円)

2022年 6月 7日

2021年度 事業報告

社会福祉法人 平成記念会

対象事業所

障がい者事業

OUCHI CAFE・KITCHEN（就労継続支援B型）【定員：20名】

OUCHI HOME（共同生活援助）【定員：14名】

障がい者事業

OUCHI CAFE・KITCHEN（就労継続支援B型）【定員：20名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 稼働率上昇により、増収となった。
 - 初期加算算定数の増加、欠席時対応加算算定数の増加により、単価微増となった。
 - 稼働率
 - 施設の認知度向上、関係機関への営業等により登録者数が増えたことで、稼働率増加となった。
 - 収支改善
 - グループ内のお中元、お歳暮や開設イベントでの発注が多く収益増加となった。
 - 大内病院デイケアよりお弁当やデザート注文を週5日で受けるようになり収益増加となった。
 - 外部販売による認知度が向上し外部注文やリピーターが増えた。
 - サービスの質
 - 利用者に定期的なモニタリングを実施し、個々の能力やニーズに合わせた仕事の割り振りを行った。
 - 利用者参加のイベントやプログラムを、感染対策を十分に行った上で定期的に実施した。
 - 商業施設等への商品販路の拡大により工賃向上となった。
 - 人材の確保、育成
 - 施設内研修や勉強会を定期的に実施。
 - 法人、グループ内の連携
 - 大内病院の在宅部門ミーティングにて退院患者支援情報の共有。
 - 大内病院精神デイケアの就労準備プログラムをCAFE・KITCHENで実施。
 - 大内病院デイケアへ昼食のお弁当を提供。
 - 大内病院デイケアで、「出張CAFE」としてデザートを提供した。
 - ココロネ淡路、PALETTEと共同でグループ内へお中元やお歳暮の提供を実施。
 - 地域貢献活動
 - 8/17～9/18、ビシャバシャアート展開催。足立区内で児童養護施設を中心に活動している団体の企画に、場所をお貸しする形で協力。

- くるりPJ実施。1個200円で事前に購入していただき、児童養護施設に OUCHIのパンをお届けする企画。12月はサンタパン80個、3月はひな祭り蒸しパン80個を提供。
- 11/14～15、3/12～13に、練馬区光が丘で開催されたサステナブルマーケットに出店。職員と利用者が店頭に立ち、OUCHIの商品のアピールを行った。
- 改修工事
 - CAFE排煙窓の修繕
- 新型コロナウイルスへの対応
 - スタッフ、利用者への標準予防策、環境整備など感染対策の徹底。
 - 緊急事態宣言の発令を期にCAFEをテイクアウトでの営業に変更していたが、宣言解除後にイトイン再開。客席の間隔を開け、入店時の手指消毒や黙食にご協力いただく形で対応。
- 主な指標 ※ () の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	46.2%	61.9% (+15.7%)
単価 (人・日)	7,809円	8,780円 (+971円)

OUCHI HOME (共同生活援助) 【定員：14名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - HOME、かりんともに稼働率が低下し、前年度比で減収となった。
 - 精神障害者地域移行特別加算の対象者が入居したことにより、単価は微増。
 - 稼働率
 - かりんは、入院した入居者のその後の処遇がなかなか決まらず、後見人や家族の希望で荷物を居室で保管していたことにより、次の利用者の入居に向けた動きを取ることができなかったことが、稼働率の低下につながった。
 - HOMEは、女性3名、男性3名が退居し、女性2名、男性2名が入居した。
 - HOME男性の退居者のうち1名は、関係者会議の結果長期での支援が引き続き必要となり、かりんへ転居となった。

- 収支改善
 - 特定相談支援事業所や保健センターなどへの営業を継続的に行い、待機者の確保を図った。
 - 入居者の入院時の加算や退居による空室発生時の空室補償など、適切な加算算定等を行うことで、減収を抑えた。
- サービスの質
 - 入居者への定期的な面談を実施し、個々のニーズに合わせた生活支援の提供を心がけた。
 - 定期的なスタッフミーティングで入居者の現状を共有し、支援内容等についての検討を行った。
- 人材の確保、育成
 - 個別カンファレンスを通じてのスタッフ教育の実施。
 - 外部研修への積極的な参加。
- 法人、グループ内の連携
 - 大内病院の在宅部門ミーティングにて、HOME・かりんの稼働状況等について共有。
 - OUCHI CAFE・KITCHENで行っているオンライン交流会への参加。グループホーム入居者同士のみならず、就労B型利用者との交流の場となった。
- 地域貢献活動
 - 町会への参加により、地域に根差した施設であることを地域住民の皆様にご理解していただいた。
- 改修工事
 - かりん雨漏り修繕
 - かりん浴室ドア修繕
 - かりん3号室ドア修繕
 - かりん4号室窓・ドア修繕
- 新型コロナウイルスへの対応
 - マスク着用、手指消毒などの予防対策の入居者への周知徹底。
 - 予防、環境整備などの感染対策の徹底。
 - 東京都からの依頼により、週1回のPCR検査を実施。
- 主な指標 ※ () の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	89.3%	64.2% (▲25.1%)
単価 (人・日)	3,951円	4,072円 (+121円)

2022年 6月 7日

2021年度 事業報告

社会福祉法人 平成記念会

対象事業所

高齢者事業

岩国市岩国第三地域包括支援センター（地域包括）

高齢者事業

岩国市岩国第三地域包括支援センター（地域包括）

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 岩国市委託料は高齢者人口6千人を下回った為減少。介護予防支援事業所としての給付件数は、サービス卒業を含めた自立支援のマネジメント強化により減少。
 - 収益は認められておらず、毎年岩国市への返還金が生じている。
 - 包括的支援事業
 - 総合相談支援対応として年間延べ4,319件の相談に対応
 - 権利擁護業務として成年後見等の相談や虐待受付対応を実施
 - 包括的継続的マネジメント業務としてケアマネからの相談対応（延べ109件）
 - 認知症総合支援事業や地域ケア会議開催等を実施。
 - 介護予防・日常生活支援総合事業
 - 介護予防に関する啓発や介護予防ケアマネジメントを実施。
 - サービスの質
 - 多種多様な相談に面接技術を駆使して懇切丁寧に対応した。
 - 人材の確保、育成
 - 職員2名が産休・育休となり年度途中で新任職員が入ったが、勉強会や事例検討会を定期開催し、スキルアップを図った。
 - 地域貢献活動
 - 南岩国地区で介護予防教室を開催し、住民主体の「通いの場」が出来た。
 - 新型コロナウイルスへの対応
 - 基本的な感染対策を徹底。担当区内18箇所の通いの場に向けて、感染防止対策をした上で取り組めるようなレクリエーションを紹介、指導を行った。
- 主な指標

※（ ）の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
ケアプラン数	2,005名	1,955名（▲50名）